

ISSN 1346-7328

国総研資料 第787号

平成 26年 4月

国土技術政策総合研究所資料

TECHNICAL NOTE of

National Institute for Land and Infrastructure Management

No.787

April 2014

交通事故の要因分析・対策立案に関する技術資料

道路空間高度化研究室

(現 道路研究室)

Technical Report of Road Safety Measure Planning

Advanced Road Design and Safety Division

国土交通省 国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Japan

交通事故の要因分析・対策立案に関する技術資料

藪 雅行*、武本 東**、尾崎 悠太***、神谷 翔****

Technical Report of Road Safety Measure Planning

Masayuki YABU*, Azuma TAKEMOTO**, Yuta OZAKI***, Sho KAMIYA****

概要

本資料は、事故要因に対応した的確な交通安全対策の立案を支援することを目的として、事故対策データベースに蓄積された事故危険箇所等における事故要因の分析、事故対策の事例を収集し、事故類型毎に、事故要因ならびにそれに対応した事故対策について分析し、その結果をとりまとめたものである。

キーワード: 事故要因、交通安全対策、事故危険箇所

Synopsis

In this report, examples of the accident analysis and road safety measures at Hazardous Spots were collected and analyzed using the data in the traffic accident countermeasure database for planning of more effective road safety measures according to causal factor. The process of accident analysis and road safety measure planning has been arranged.

Keywords : Causal factor, Road safety measure, Hazardous Spot

* 道路研究部道路空間高度化研究室 室長 (現 道路構造物研究部道路基盤研究室 室長)	Head, Advanced Road Design and Safety Division, Road Department
** 道路研究部道路空間高度化研究室 研究官 (現 独立行政法人土木研究所企画部研究企画課 研究評価・国際室 主査)	Researcher, Advanced Road Design and Safety Division, Road Department
*** 道路研究部道路空間高度化研究室 研究官 (現 道路交通研究部道路研究室 研究官)	Researcher, Advanced Road Design and Safety Division, Road Department
**** 道路研究部道路空間高度化研究室 部外研究員 (現 道路交通研究部道路研究室 部外研究員)	Guest Research Engineer, Advanced Road Design and Safety Division, Road Department

目次

1. はじめに	1
1.1 目的.....	1
1.2 本資料の位置づけと内容.....	1
2. 対策立案の進め方	2
2.1 全体の流れ.....	2
2.2 各段階の基本的な実施方法(考え方)と留意事項.....	3
3. 事故要因分析・対策立案支援資料(関連表)	7
3.1 事故要因分析・対策立案支援資料(関連表)で対象とする事故類型.....	10
3.2 事故要因分析・対策立案支援資料(関連表)の利用手順.....	11
3.3 事故要因分析・対策立案支援資料(関連表)の活用方法と留意事項.....	12
3.4 事故要因分析・対策立案支援資料(関連表).....	18

1. はじめに

1.1 目的

近年、交通事故の死者数、死傷者数は減少傾向にあるものの、年間80万人以上が交通事故で死傷しており、絶対数としては依然として高い状態で推移している。

交通事故の減少に対しては、交通安全教育の推進、車両の安全性の向上等とともに、道路側の多様な交通安全対策も大きく寄与してきた。一方、道路管理者が交通安全対策を実施する場所は、それぞれ固有の道路交通環境、現場条件を有しており事故要因も多様であることから、あらゆる道路交通環境、現場条件に対応した交通安全対策の教科書は存在せず、現場の担当者がその都度、頭を悩ませながら対策を立案しなければならないといった課題がある。

そこで、効果的な交通安全対策の実施に向けて、個別箇所における事故要因に対応した的確な交通安全対策の立案を支援することを目的として、「交通事故の要因分析・対策立案に関する技術資料」をとりまとめた。

1.2 本資料の位置づけと内容

本資料は、事故データ等をもとに対策が必要と判断された幹線道路の箇所において、道路管理者が行う対策立案を支援する資料である。

本資料は、対策立案の検討プロセスと各段階における実施方法及び留意事項等を整理した「2. 対策立案の進め方」と、事故要因に即した的確な対策立案を支援するために作成した「3. 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）」に関する内容で構成されている。

「3. 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）」では、道路管理者が行う対策立案を中心として、事故類型及び事故形態毎に、事故発生過程、事故要因、対策方針、対策工種の関連性を表形式でとりまとめている。なお、事故危険箇所等では、道路管理者と公安委員会が連携して交通安全対策を実施していることから、公安委員会が行う対策工種についても、一部（信号、横断歩道、停止線等）を事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）に記載している。

これらは、事故多発地点における対策立案の実例を収集して作成した「交通事故対策事例集」（国土技術政策総合研究所資料 第165号、平成16年3月）をもとに、その後に事故対策データベースに蓄積された事故危険箇所等での対策立案の実例（約8,000事例）を収集して整理したものである。

本資料は、事故対策データベースに今後登録される内容や、本資料を利用した方々からのご意見等をいただきながら、更新・改善していく予定である。

2. 対策立案の進め方

2.1 全体の流れ

事故データ等をもとに交通安全対策が必要と判断された箇所における対策立案の一般的な検討プロセスを図 2-1に示す。一般に、交通安全対策の立案は、①各種データの収集・整理、②着目すべき事故形態の設定、③事故発生過程の推定、④事故要因の分析、⑤対策方針の検討、⑥対策工種の立案、⑦対策工種の選定の7段階で進められる。

次節で、①から⑦までの各段階における基本的な実施方法（考え方）と留意事項を示す。

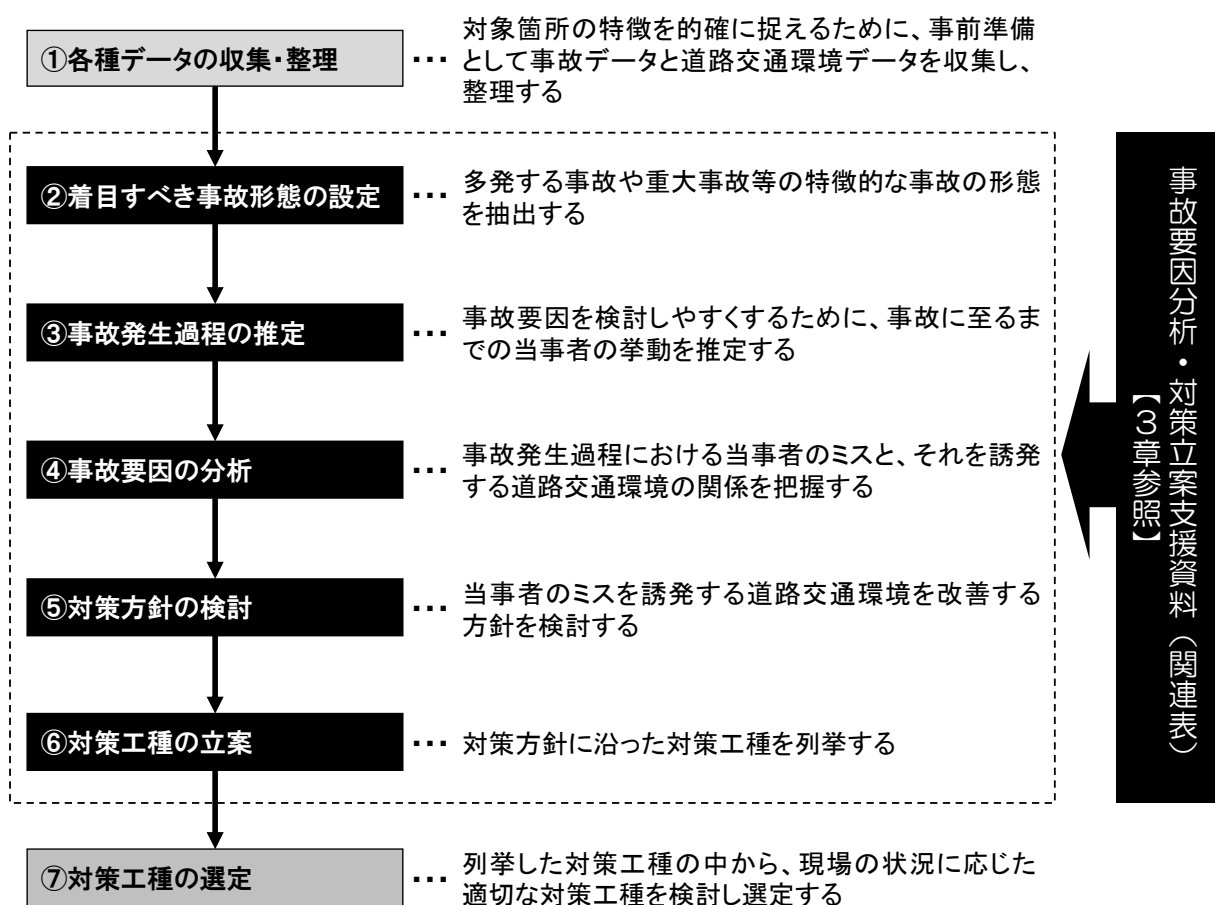


図 2-1 道路管理者による対策立案の一般的な検討プロセス

2.2 各段階の基本的な実施方法（考え方）と留意事項

① 各種データの収集・整理

対策立案の事前準備として、個別箇所の事故データと道路交通環境データを収集し整理する。

(1) 事故データの収集・整理

事故データは、主として②着目すべき事故形態の設定、③事故発生過程の推定、④事故要因の分析を行うにあたって、重要なデータとなる。

交通事故の要因は、事故類型の別、当事者の別、発生地点の別等により様々であることから、当該箇所において特徴的な事故要因を的確に分析するために、「いつ、どこで、だれが、どのような形態で事故となっているのか」を明らかにする必要がある。そのため、主として以下の項目を中心に収集することが望ましい。

- 発生時間帯：昼・夜 等
- 路面状態：乾燥・湿潤・凍結・積雪 等
- 発生位置：単路・交差点・交差点付近、車道・路肩・自歩道・横断歩道 等
- 当事者：（第一、第二当事者の）自動車・二輪車・自転車・歩行者・その他
- 事故類型：人対車両・正面衝突・追突・出会い頭・右折時・左折時・車両単独
- 進行方向や行動：直進・右折・左折、横断中・停止中 等

これらの項目は、以下のデータから収集することが考えられる。

a) 交通事故統合データ

交通事故統合データは、交通事故総合分析センター（ITARDA）で作成される交通事故と道路交通センサスのデータが統合されたデータである。交通事故統合データの対象道路は、道路交通センサスの対象道路と同一である。

b) 事故見取り図

事故見取り図は、交通事故1件毎の発生位置、当事者、事故に至る過程等を記録した資料である。

上記のデータを用いて整理する内容の例は、以下のとおりである。

a) 死亡・死傷事故の特徴整理

過去数年間に発生した交通事故統合データを集計することにより、個別箇所における事故発生傾向（「追突事故が多い」「二輪車事故が多い」「夜間事故が多い」等）や、その経年変化を整理する。これらをもとに、当該箇所が発生する事故の特徴を整理する。

b) 事故発生状況図の作成

個々の事故の発生位置、当事者種別、進行方向等の情報をもとに、事故発生状

況図を作成し、個々の事故の形態や、事故が集中して発生している地点または範囲を把握する。なお、②着目すべき事故形態の設定以降の分析・検討を円滑に実施するために、事故位置のマークは事故類型等の違いにより着色を分け、一見して特徴を認識できるように配慮することが望ましい。

なお、事故発生状況図の作成にあたっては、「交通工学ハンドブック2014」（一般社団法人交通工学研究会編）等を参考にするとよい。

(2) 道路交通環境データの収集・整理

道路交通環境データ（道路構造、交通状況、既存の交通安全施設等のデータ）は、主として④事故要因の分析、⑤対策方針の検討、⑥対策工種の立案、⑦対策工種の選定を行うにあたって重要なデータとなる。

①各種データの収集・整理の段階では、道路台帳や道路交通センサス等から、道路構造（単路・交差点等の道路形状、道路線形、車線構成等）や交通状況（交通量、混雑度、平均旅行速度等）等の情報を可能な範囲で収集する。④事故要因の分析以降の段階では、既存の交通安全施設や信号現示等の詳細な情報を適宜追加することが望ましい。

また、各段階で、適宜、現地調査を行い、道路交通環境の現況を確認することが望ましい。

② 着目すべき事故形態の設定

事故発生状況図等から、当該箇所において着目すべき事故形態を設定する。

設定にあたっては、以下の2つの観点から検討することが望ましい。なお、着目すべき事故形態は、1つに絞り込む必要はなく、特徴的なものをすべて抽出する。

a) 事故類型、当事者、発生地点が同一で、多発している事故

交通事故は偶発的な事象ではあるが、同じ地点で同じ形態の事故が多発する場合、それらの事故を引き起こす何らかの共通する要因がある可能性が高い。また、多発する同じ形態の事故を解消することにより、当該箇所の安全性を効率的に高めることができると考えられる。

このため、同一の事故類型が多発する、当事者が共通する、事故発生時間帯が共通する等、多様な視点から、発生した事故の共通性を見出し、着目すべき事故形態として抽出することが望ましい。

b) 死亡・重傷事故等の重大事故

死亡事故や重傷事故に至った事故の形態に対しては、更なる重大事故の発生を予防するために、少数であっても着目すべき事故形態として抽出することが望ましい。

③ 事故発生過程の推定

収集した各種データと交通状況の観測結果を基に、着目した事故形態における当事者及び周辺車両等の事故に至るまでの動きを推定する。

交通事故は、当事者及び周辺車両等の一連の交通挙動の中で発生し、その過程に事故を引き起こす要因があると考えられる。このため、事故要因の分析に先立ち、着目した事故形態における第一当事者、第二当事者、その他周辺車両等の事故に至るまでの挙動を、可能な限り正確に推定する必要がある。

なお、交通状況の観測については、ビデオ撮影等を行い、着目した事故形態に至らないまでも危険であった状況を抽出する方法が考えられる。

④ 事故要因の分析

着目すべき事故形態として設定した事故の要因を分析する。

交通事故の直接的な要因は、安全不確認、見落とし等、当事者のミスによるものが多い。しかしながら、交通事故が発生する背景には、道路交通環境が当事者のミスを誘発する場合もあることから、交通事故を防止するためには道路側からのアプローチが必要である。

そのため、事故要因の分析では、事故発生過程における当事者のミスを検討するとともに、そのミスを誘発する道路交通環境の有無とその内容を検討することが必要である。具体的には、事故発生過程における当事者等のそれぞれの行動に着目し、その中で、各当事者がどのような認知・判断・操作のミスをしたかを推定する。さらには、その認知・判断・操作のミスが道路交通環境に誘発されたかどうか、誘発された場合、どのような道路交通環境によるものかを分析する。

また、交通事故は、一方の当事者のミスだけではなく、複数の当事者または周辺車両等のミスが重なって発生する場合がほとんどである。そのため、事故に関係した全ての車両や歩行者の視点から事故要因を検討することが必要である。

また、事故原票に記載される事故類型は事故発生時の最終的な形態を基に分類される。しかし、交通事故の中には、ある事故の発生を回避するためにとった行動（急減速、急な車線変更等）により、別の事故形態の事故が発生する場合がある。例えば、本線を走行する車両が、沿道施設から本線に流入しようとする車両との衝突（出会い頭事故）を回避しようとして急減速・急停止した結果、本線後続車両と追突する事故が考えられる。そのため、最終的に事故を起こした当事者の行動だけではなく、事故に関係した全ての車両や歩行者の行動を整理する必要がある。

⑤ 対策方針の検討

分析した事故要因に対する対策方針を検討する。

事故要因を着実に解消する観点から、当事者のミス誘発する道路交通環境を改善する対策方針を中心に検討することが必要である。また、居眠りや速度超過等、当事者のミスに大きく依存する事故要因に対しては、当事者のミスを抑制するための注意喚起を行う方針を検討することが望ましい。

⑥ 対策工種の立案

対策工種の立案では、対策方針に沿った対策工種の候補を複数挙げる。

⑦ 対策工種の選定

挙げた対策工種の候補毎に、効果、費用、対策に必要な期間等の諸条件について整理する。また、対策実施による交通挙動等の変化を想定し、着目した事故形態以外の事故が発生・増加する可能性がないか検討することが望ましい。着目した事故形態以外の事故の発生が懸念される場合は、その事故を抑制するための対策工種の候補についても同様に整理する。

なお、対策効果の整理にあたっては、事故対策データベースに蓄積された個別の対策箇所における対策前後の事故類型別事故件数の変化等を参考にすることが望ましい。

整理した対策工種の候補の中から、現地条件（用地的・道路構造的制約等）を踏まえて、現地に適した対策工種を選定する。その際、対策工種の候補毎のメリット、デメリットを比較して、現地に適しているかどうかの判断をする必要がある。また、対象箇所周辺の道路整備計画や、道路交通に影響を及ぼすその他の計画等も勘案しつつ、適切な対策工種を選定する。

3. 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）

「2. 対策立案の進め方」にしたがって、事故要因に即した対策立案を行う際に参考とすることができるよう、「事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）」を作成した。本資料は、事故類型別、単路・交差点別に、想定すべき事故形態、事故発生過程、事故要因、対策方針、対策工種を順に選択することができる表構成で整理したものである（図 3-1参照）。

なお、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）は、事故対策データベースに登録されたこれまでの交通安全対策の検討実績をもとに作成している。そのため、全ての事故に対する検討プロセスを網羅しているわけではないことに留意し、この資料を参考としつつ、現場の特徴を十分に踏まえた対策立案を行うことが必要である。

以降、3.1において、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）で対象とする事故類型を示し、3.2において、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の利用手順を述べ、3.3において、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の活用方法と留意事項を述べ、3.4において、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）を示す。

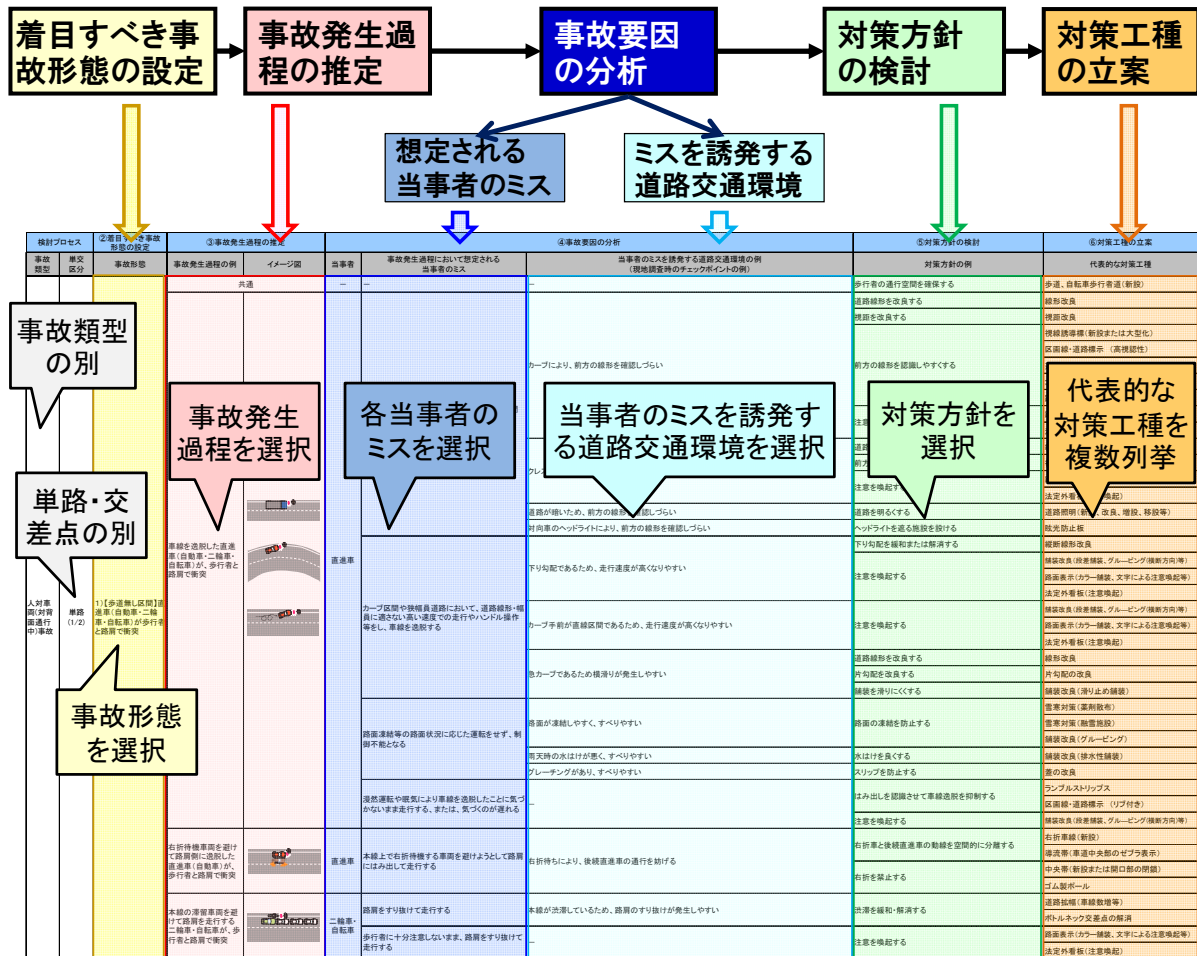


図 3-1 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の表構成

【参考1：事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の現場での活用イメージと作成方法】

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）は、交通安全担当者が以下のように活用することを想定して作成したものである。

- 1) 事故形態毎に、事故発生過程の推定、その過程における事故要因の分析、事故要因に応じた対策方針の検討、決定した方針に沿った対策工種の立案の流れを確認できるようにするため、対策立案の一般的な検討プロセスに合わせた表構成で作成。
- 2) 交通安全事業に初めて携わる担当者でも、表を追うことである程度の対策立案ができるようにするため、また、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）に記載されている内容から現場固有の事故要因を想定しやすくするため、事故形態毎に事故要因分析の実績を整理。
- 3) 事故発生過程、当事者のミス、当事者のミスを誘発する道路交通環境は、各現場で該当するかどうかについての推定しやすさが異なることから、各担当者を取り組みやすいところから対策立案を進めることができるようにするため、3つの項目をそれぞれ区分して整理。

なお、事故発生過程、当事者のミス、当事者のミスを誘発する道路交通環境の推定にあたっては、以下の方法が考えられる。

- ・事故発生過程：現地でのビデオ撮影等を通じて推定
- ・当事者のミス：事故発生過程または当事者のミスを誘発する道路交通環境を推定後、それとの因果関係を推定
- ・当事者のミスを誘発する道路交通環境：現地を確認することにより推定

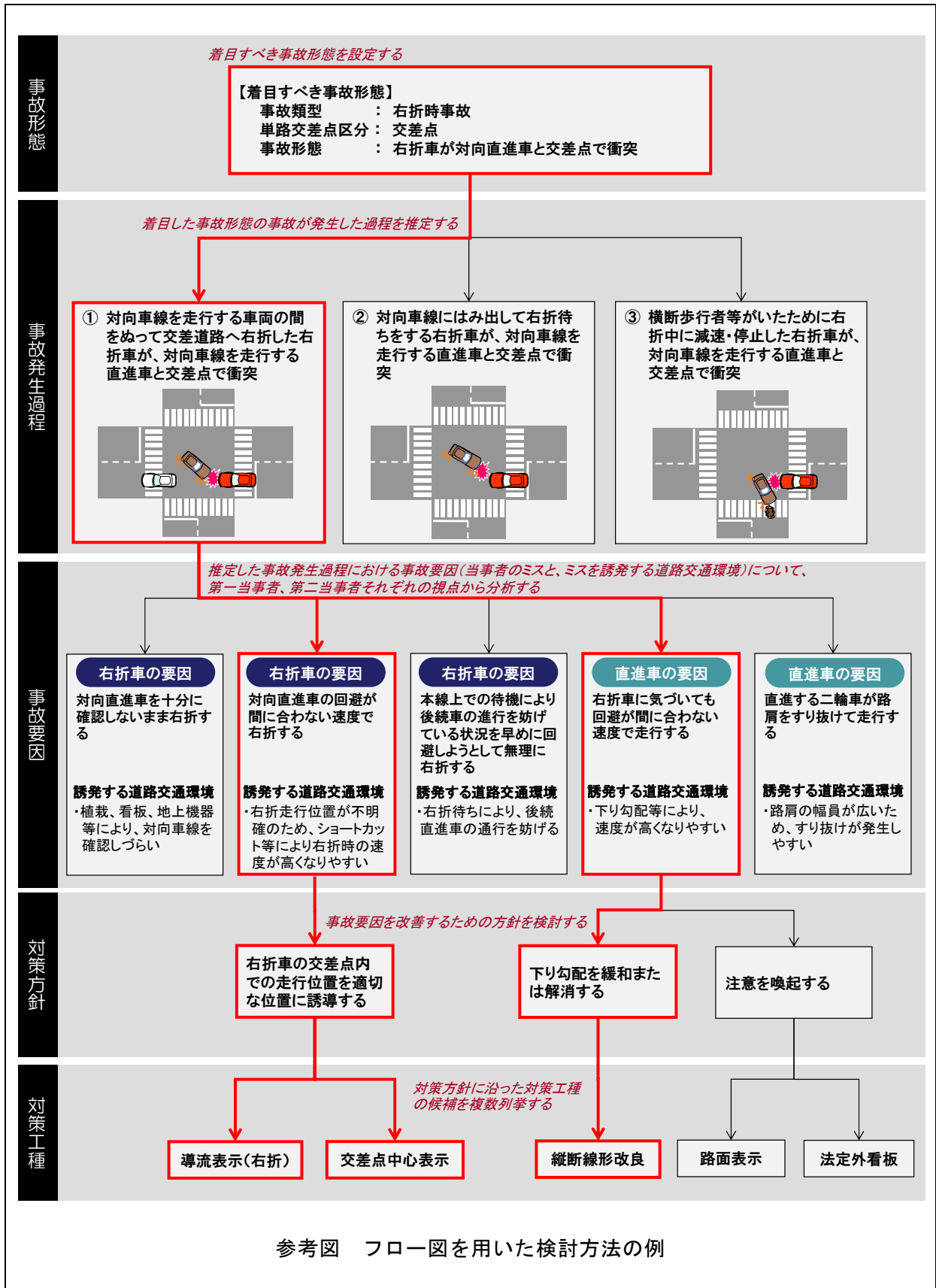
これらの他、事故要因の分析における当事者のミスやそれを誘発する道路交通環境を検討する時に、検討漏れがないかを確認できる資料としての活用も想定して作成した。

【参考2：フォルトツリーを活用した検討方法】

交通安全対策の立案を行う上での有効なツールとして、フォルトツリーを活用した検討方法がある。この方法は、事故形態毎に、想定される事故発生過程、事故要因、対策方針、対策工種をあらかじめフロー図に整理しておき、検討対象となる箇所の現地条件や特徴を踏まえて順を追って選択していく方法である。

次頁の参考図は、右折車と対向直進車が交差点で衝突した事故を対象として、フロー図を用いて検討を行った例を示している。図中の太線（赤線）で示すように、対策立案の検討プロセスに沿って、各段階の該当する項目を追っていく形で検討を行う方法である。

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）は、このフォルトツリーを活用した検討方法を参考にして、横向きのフロー図形式で整理したものである。



3.1 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）で対象とする事故類型

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）では、交通事故統合データの事故類型の分類の中から、表 3-1に示す代表的な8種類の事故類型を対象として作成した。

表 3-1 交通事故統合データの事故類型と事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の対象とした事故類型の対応

交通事故統合データにおける 事故類型の分類		事故要因分析・対策立案支援資料 （関連表）の対象とした事故類型	
		No	事故類型
人 対 車 両	対面通行中	1	人対車両 (対背面通行中)
	背面通行中		
	横断歩道横断中	2	人対車両 (横断中)
	横断歩道付近横断中		
	横断歩道橋付近横断中		
	その他横断中		
	路上遊戯中	—	—
	路上作業中	—	—
	その他	—	—
車 両 相 互	正面衝突	3	正面衝突
	すれ違い時		
	追突	4	追突
	進路変更時		
	追越追抜時		
	出会い頭	5	出会い頭
	左折時	6	左折時
	右折時	7	右折時
	転回時		
	後退時	—	—
	その他	—	—
車 両 単 独	工作物衝突	8	車両単独
	路外逸脱		
	駐車車両衝突(運転者不在)		
	転倒		
	その他	—	—
列車	—	—	
不明	—	—	

3.2 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の利用手順

図 2-1に示した対策立案の一般的な検討プロセスを踏まえた事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の利用手順を図 3-2に示す。初めに、事故発生状況図等から着目すべき事故形態を設定し、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）から該当する事故形態を選択する。その後は、事故発生過程、当事者のミス、当事者のミスを誘発する道路交通環境、対策方針、対策工種について、図 3-2の手順で選択する。

対策立案の一般的な検討プロセス	事故要因分析・対策立案支援資料(関連表)の利用手順
(① 各種データの収集・整理)	
(② 着目すべき事故形態の設定)	1) 事例集から、該当する事故形態を選択
(③ 事故発生過程の推定)	↓ 2) 想定される事故発生過程を選択(※)
(④-1 事故要因の分析 (当事者のミスの推定))	↓ 3) 想定される当事者のミスを選択(※)
(④-2 事故要因の分析 (当事者のミスを誘発する 道路交通環境の推定))	↓ 4) 当事者のミスを誘発する道路交通環境 として想定されるものを選択(※)
(⑤ 対策方針の検討)	↓ 5) 対策方針を選択
(⑥ 対策工種の立案)	↓ 6) 対策工種を列挙

※事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の利用手順のうち、2)、3)の段階で、事故発生過程または当事者のミスの一つに限定できない場合は、複数ものを選択する。4)の後で、選択した複数の組合せの中から、対象箇所で確からしい組合せを選択する。

図 3-2 対策立案の一般的な検討プロセスと事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の利用手順

【留意点】 本書に記載のない事故形態に対して検討する場合

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）は、これまでの交通安全対策の検討実績を踏まえて、できるだけ多くの事故形態に対して、事故発生過程、当事者のミス、当事者のミスを誘発する道路交通環境、対策方針、対策工種を整理した。しかし、事故形態や現場条件は様々であることから、全てを網羅することは困難なため、記載のない事故形態もある。本書に記載のない事故形態に対して対策立案を行う場合は、事故形態や事故発生過程が類似するものを参考にするとよい。なお、その際、必要に応じて、本書に記載した組合せを見直すことも検討する。

3.3 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の活用方法と留意事項

対策立案の一般的な検討プロセスのうち「①各種データの収集・整理」を行った後、「②着目する事故の設定」以降の各段階で、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）を用いて対策立案を行う際の活用方法と留意事項を示す。

① 各種データの収集・整理

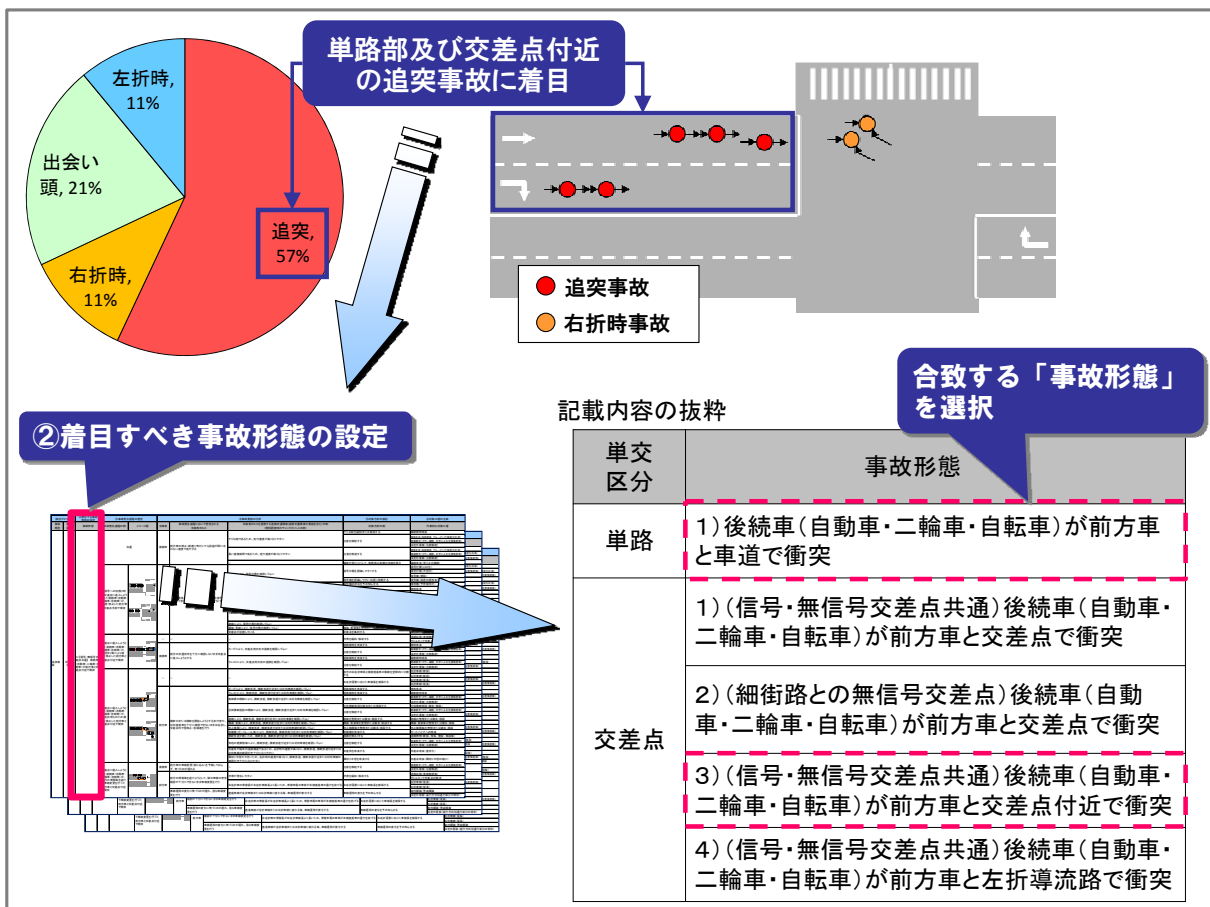
対策立案の事前準備として、個別箇所の事故データと道路交通環境データを収集し整理する。

② 着目すべき事故形態の設定

事故発生状況図等から着目すべき事故形態（当事者種別、進行方向、事故発生位置の組合せ）を抽出し、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の該当する事故類型の「②着目すべき事故形態の設定」欄の記載内容の中から、合致するものを選択する。

なお、事故形態の欄に“共通”と記載された行には、事故形態に関わらず、その事故類型に共通する対策方針、対策工種が記載されている。事故形態の欄に“共通”と記載された行の対策方針については、「⑤対策方針の検討」の段階で現場に該当するかどうかを検討する。

《事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）を活用した対策立案の一例》



③ 事故発生過程の推定

「③事故発生過程の推定」の列のうち、選択した事故形態の右側に記載された事故発生過程の中から、現場で想定される事故発生過程を選択する。

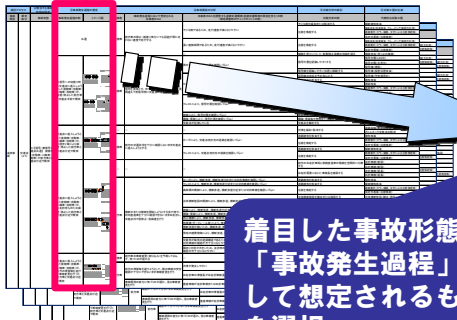
この時、一つの事故発生過程に限定できない場合は、複数の事故発生過程を選択する。

また、ある事故を回避しようとして発生した事故（例えば、沿道出入り口から進入しようとした自動車との出会い頭事故を回避しようとして急減速した本線の自動車に、後続の自動車が衝突した追突事故等）の事故発生過程に対しては、回避しようとした事故（上述の例の場合、出会い頭事故）及び実際に発生した事故（上述の例の場合、追突事故）の双方について検討する。

なお、事故発生過程の欄に“共通”と記載された行には、事故発生過程に関わらず、その事故形態に共通する事故要因または対策方針が記載されている。事故発生過程の欄に“共通”と記載された行の事故要因または対策方針については、「④事故要因の分析」または「⑤対策方針の検討」の段階で現場に該当するかどうかを検討する。

《事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）を活用した対策立案の一例》

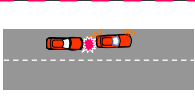
③事故発生過程の推定



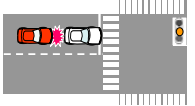
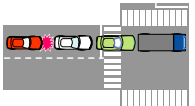
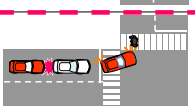

着目した事故形態の「事故発生過程」として想定されるものを選択

記載内容の抜粋

○単路

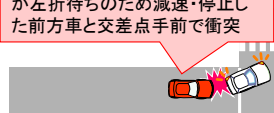
事故発生過程の例	イメージ図
単路を走行する後続車(自動車・二輪車・自転車)が、減速・停止または車線変更を行った前方車と車道で衝突	

○交差点(付近)


事故発生過程の例	イメージ図
赤信号への切り換え時に交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、減速・停止した前方車と交差点手前で衝突	
交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、先詰まり等により減速・停止した前方車と交差点付近で衝突	
交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、右左折待ちのため減速・停止した前方車と交差点付近で衝突	
交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、前方の滞留等を避けて車線変更を行った前方車と交差点付近で衝突	

【想定した事故発生過程のイメージ】

交差点に進入しようとした後続車が左折待ちのため減速・停止した前方車と交差点手前で衝突



単路を走行する後続車が、減速・停止した前方車と車道で衝突



-13-

④ 事故要因の分析

「④事故要因の分析」の列のうち、選択した事故発生過程の右側に記載された事故要因の中から、現場で想定される事故要因を選択する。

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の「④事故要因の分析」欄は、「当事者」、「事故発生過程において想定される当事者のミス」、「当事者のミスを誘発する道路交通環境の例」の欄に区分して記載されている。なお、「当事者のミスを誘発する道路交通環境の例」に“-”が記載されているものについては、漫然運転といった道路交通環境に関係しない当事者のミスである場合を示している。

検討に当たっては、初めに、③で選択した事故発生過程における第一当事者、第二当事者双方のミスとして想定されるものを「事故発生過程において想定される当事者のミス」欄の中から選択する。この時、当事者のミスの想定は非常に難しいため、可能性がある当事者のミスを全て選択することが望ましい。また、選択した事故発生過程を含む事故形態に共通の事故要因が記載されている場合は、そこに記載されている事故要因も含めて検討する。

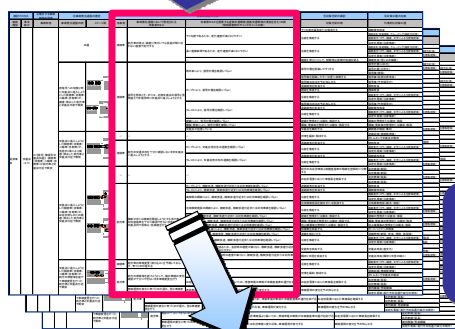
次に、「当事者のミスを誘発する道路交通環境の例」に記載された内容のうち、選択した当事者のミスの右側に記載された内容を現場の道路交通環境と照らし合わせることで、当事者のミスを誘発する道路交通環境を推定し、該当する内容を選択する。

最後に、選択した「事故発生過程の例」「事故発生過程において想定される当事者のミス」「当事者のミスを誘発する道路交通環境の例」の組合せを見直し、確からしい組合せを選択する。確からしい組合せが複数ある場合は、複数の組合せを選択する。

なお、「当事者」、「事故発生過程において想定される当事者のミス」、「当事者のミスを誘発する道路交通環境の例」の欄全てに“-”が記載された行については、「⑤対策方針の検討」の段階で、対策方針が現場に該当するかどうかを検討する。

なお、「当事者のミスを誘発する道路交通環境の例」の記載内容は、現地調査等でチェックリストとして活用することを想定して、現地で確認すべき道路交通環境（道路構造、交通状況、既存の交通安全施設等）をできるだけ列挙している。そのため、この欄に記載されている道路交通環境の該当の有無について現地調査を行い確認することが望ましい。ただし、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）に記載されている道路交通環境は、全てを網羅しているわけではないため、記載のない道路交通環境によって当事者のミスが生じた可能性についても検討することが必要である。

④事故要因の分析



記載内容の抜粋
○単路

(1)事故発生過程において想定される当事者のミスを選択する

(2)当事者のミスを誘発する道路交通環境として、現場で該当するものを選択する

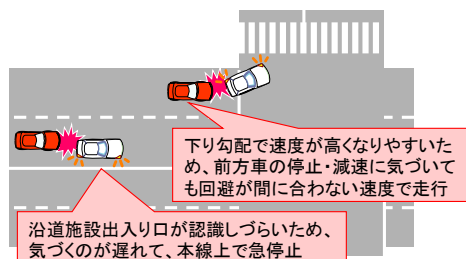
(再掲) 事故発生過程	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)
単路を走行する後続車(自動車・二輪車・自転車)が、減速・停止または車線変更を行った前方車と車道で衝突	—	—	—
	後続車	前方の交通状況を十分に確認しないまま走行する	カーブにより前方の道路を確認しづらい クレストにより前方の道路を確認しづらい 下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい
	前方車	前方車の停止・減速や車線変更(割り込み)に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい
	前方車	沿道施設進入時に沿道施設出入口に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速または車線変更を行う	沿道施設出入口を認識しづらい

○交差点(付近)

(再掲) 事故発生過程	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)
共通	後続車	前方車の停止・減速に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい 長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい
交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、右左折待ちのため減速・停止した前方車と交差点付近で衝突	—	—	—
	前方車	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま右左折し、交差点内で急停止・急減速を行う	植栽により、横断歩道等を確認しづらい 標識・看板により、横断歩道等を確認しづらい 地上機器により、横断歩道横断歩道等を確認しづらい 防護柵(ガードレール等)により、横断歩道等を確認しづらい

(3)「事故発生過程」「当事者のミス」「道路交通環境」の組合せの中から、確からしいものを選択

【選択した事故要因のイメージ】



⑤ 対策方針の検討

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の「⑤対策方針の検討」欄には、事故類型または事故形態に共通する対策方針の例、当事者のミス誘発する道路交通環境を改善する対策方針の例、もしくは、当事者のミスを抑制する対策方針の例が記載されている。これらの対策方針の例を参考にして、現場にあった対策方針を選定する。なお、当事者のミスを誘発する道路交通環境が複数ある場合は、それぞれを改善する対策方針を選択する。

《事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）を活用した対策立案の一例》

⑤対策方針の検討

(再掲)
当事者のミスを誘発する
道路交通環境の例

—

カーブにより前方の道路を確認しづらい

沿道施設出入口を認識しづらい

記載内容の抜粋
○単路

対策方針の例

前方の沿道施設進入車両と後続直進車の動線を空間的に分離する

渋滞を緩和・解消する

道路線形を改良する

視距を改良する

注意を喚起する

沿道施設出入口を認識しやすくする

沿道施設出入口を集約または移設する

(再掲)
当事者のミスを誘発する
道路交通環境の例

下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい

—

植栽により、横断歩道等を確認しづらい

○交差点(付近)

対策方針の例

下り勾配を緩和または解消する

注意を喚起する

前方の右左折車両と後続直進車の動線を空間的に分離する

右左折需要に応じた車線長を確保する

植栽を整理または撤去・移設する

現場にあった「対策方針」を選択

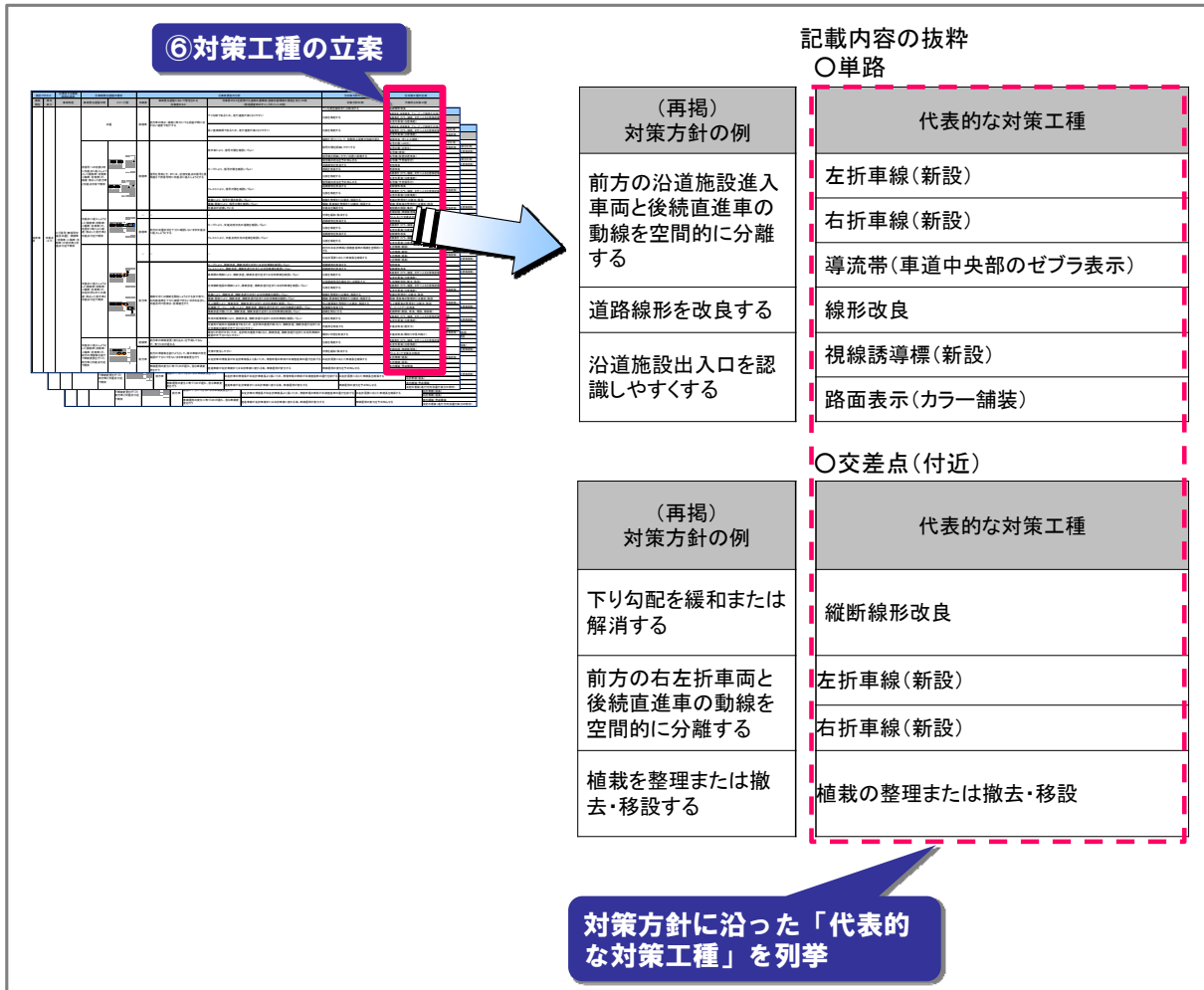
【参考】 自転車関連事故の対策方針について

車道または路肩を走行する自転車が当事者となる事故において、自転車と他の当事者の通行空間が分離されていないことが事故の一因として考えられるものについては、事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の対策方針には「自転車通行空間を整備する」と記載した（対策工種の立案の欄では、「自転車道・自転車専用通行帯等」を記載した）。これらが該当する場合は、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」（国土交通省道路局・警察庁交通局、平成24年11月）を参考にするとよい。

⑥ 対策工種の立案

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の「⑥対策工種の立案」欄に記載された代表的な対策工種を参考として、対策方針を具体化する対策工種の候補を複数挙げる。

《事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）を活用した対策立案の一例》



3.4 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）

事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）は、事故類型別に表 3-2に示す順にまとめている。

表 3-2 事故要因分析・対策立案支援資料（関連表）の事故類型別の記載ページ

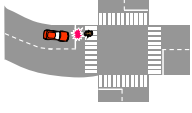
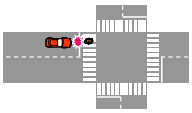
No	事故類型	単路・交差点	ページ
1	人対車両（対背面通行中）	単路	P. 1～2
2	人対車両（横断中）	単路	P. 3～4
		交差点	P. 5～10
3	正面衝突	単路	P. 11～12
		交差点	P. 12
4	追突	単路	P. 13
		交差点	P. 14～18
5	出会い頭	単路	P. 19～20
		交差点	P. 21～23
6	左折時	単路	P. 24
		交差点	P. 25～27
7	右折時	単路	P. 28～29
		交差点	P. 30～32
8	車両単独	単路	P. 33
		交差点	P. 34

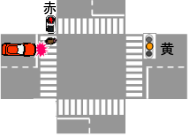


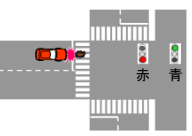

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
人対車両(対背面通行中)事故	単路(1/2)	1)【歩道無し区間】直進車(自動車・二輪車・自転車)が、歩行者と路肩で衝突	共通		—	—	—	歩行者の通行空間を確保する	歩道、自転車歩行者道(新設)		
			車線を逸脱した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、歩行者と路肩で衝突	直進車	前方の線形を十分に確認しないままカーブ区間に入し、車線を逸脱する		カーブにより、前方の線形を確認しづらい	前方の線形を十分に確認しないままカーブ区間に入し、車線を逸脱する	カーブにより、前方の線形を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良
					視距を改良する	視距改良					
					前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化) 区画線・道路標示(高視認性) 道路鈔 ゴム製ポール 路面表示(カラー舗装)					
					注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
					道路線形を改良する	縦断線形改良					
					前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化)					
					注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
					道路線形を改良する	縦断線形改良					
					前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化)					
					注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
					道路が暗いため、前方の線形を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)				
					対向車のヘッドライトにより、前方の線形を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける	眩光防止板				
			カーブ区間や狭幅員道路において、道路線形・幅員に適さない高い速度での走行やハンドル操作等をし、車線を逸脱する	直進車	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい		下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	カーブ区間や狭幅員道路において、道路線形・幅員に適さない高い速度での走行やハンドル操作等をし、車線を逸脱する	カーブ手前が直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良
					注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
					注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
					道路線形を改良する	線形改良					
					片勾配を改良する	片勾配の改良					
					舗装を滑りにくくする	舗装改良(滑り止め舗装)					
路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	直進車	路面が凍結しやすく、すべりやすい		路面が凍結しやすく、すべりやすい	路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	路面が凍結しやすく、すべりやすい	路面の凍結を防止する	雪寒対策(薬剤散布) 雪寒対策(融雪施設) 舗装改良(グルーピング)			
		雨天時の水はけが悪く、すべりやすい	水はけを良くする	舗装改良(排水性舗装)							
		グレーチングがあり、すべりやすい	スリップを防止する	蓋の改良							
漫然運転や眠気により車線を逸脱したことに気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	直進車	—		—	漫然運転や眠気により車線を逸脱したことに気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	—	はみ出しを認識させて車線逸脱を抑制する	ランブルストリップス 区画線・道路標示(リブ付き)			
右折待ち車両を避けて路肩側に逸脱した直進車(自動車)が、歩行者と路肩で衝突	直進車	本線上で右折待ちする車両を避けようとして路肩にはみ出して走行する		右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	本線上で右折待ちする車両を避けようとして路肩にはみ出して走行する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)			
		右折を禁止する	中央帯(新設または開口部の閉鎖) ゴム製ポール								
本線の滞留車両を避けて路肩を走行する二輪車・自転車が、歩行者と路肩で衝突	二輪車・自転車	路肩をすり抜けて走行する		本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	路肩をすり抜けて走行する	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消			
		歩行者に十分注意しないまま、路肩をすり抜けて走行する	—	注意を喚起する			路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				

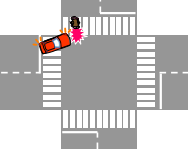
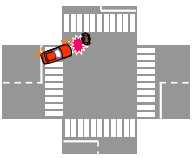
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案								
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種								
人対車両(対背面通行中)事故	単路(2/2)	2)【歩道有り区間】右左折車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と歩道で衝突	共通		—	—	—	沿道施設出入口を集約または移設する	施設出入口の集約または本線外への移設 歩道切り下げ部の廃止								
			沿道施設に右左折で進入した右左折車(自動車・二輪車・自転車)が、歩行者と歩道で衝突	右左折車	歩道上の歩行者を十分に確認しないまま歩道に進入する		—	高架橋の橋脚により、歩道を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)							
									立体横断施設の橋脚により、歩道を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)						
										植栽により、歩道を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設					
											標識・看板により、歩道を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設				
												地上機器により、歩道を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設			
													防護柵(ガードレール等)により、歩道を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
														歩道部分が暗いため、歩道を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)	
															路上に駐停車する車両により、歩道を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)
																本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右左折する	右折待ち又は左折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる
	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)															
	右折を禁止する	中央帯(新設または開口部の閉鎖) ゴム製ポール															
	左折車	沿道施設出入口に気づくのが遅れて急に左折し、歩行者を十分に確認しないまま歩道に進入する	沿道施設出入口を認識しづらい	沿道施設出入口を認識しやすくする	視線誘導標(新設) 路面表示(カラー舗装)												
				通行量に応じた歩道幅員を確保する	歩道、自転車歩行者道(拡幅)												
	3)【歩道有り区間】歩行者が直進車(自動車・二輪車・自転車)と車道で衝突	車道に飛び出した歩行者が、本線を走行する直進車(自動車・二輪車・自転車)と車道で衝突		歩行者	他の歩行者・自転車等により、歩道上の通行を阻害され、車道に飛び出す	通行量に対して歩道幅員が不足している	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等									
							歩行者の飛び出しを防止する	歩行者の車道への飛び出しを防止する	歩行者自転車用防護柵(横断防止用)								
								下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	縦断線形改良							
										舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等)							
										路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)							
								長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等)							
路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)																	
舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る										舗装改良(滑り止め舗装)							
歩行者の飛び出しを予期しないまま走行する								—	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)						
											4)【歩道有り区間】直進する自転車が歩行者と自歩道で衝突	歩行者を避けようとした自転車が、別の歩行者と自歩道で衝突		自転車	歩行者を避けようとして、蛇行運転をする	自転車と歩行者が自歩道上で交錯する機会がある	自転車通行空間を整備する

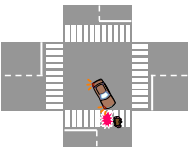
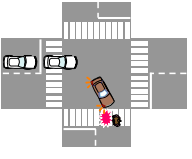

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
人对車 両(横断中)事故	単路 (1/2)	1)【無信号の横断歩道】直進車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	共通		共通	共通	共通	自動車と横断歩行者の動線を空間的に分離する	立体横断施設(新設)
			共通		共通	共通	共通	自動車と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号機(新設)
			直進車		横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま横断歩道に進入する	カーブにより、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良	
						視距を改良する	視距改良		
						注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
						クレストにより、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良	
						注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
						高架橋の橋脚により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						植栽により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						標識・看板により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						地上機器により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
						防護柵(ガードレール等)により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
						横断歩道が暗いため、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)	
						路上に駐車する車両により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)	
			対向車のヘッドライトにより、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける	眩光防止板				
			歩行者		横断歩道に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良	
						注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
						長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						横断歩道に進入する、または、横断歩行者に気づくのが遅れる	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
			歩行者		横断歩道に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	横断歩道を認識しづらい	横断歩道を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性) 路面表示(カラー舗装)	
						カーブにより、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良	
						クレストにより、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良	
						高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
						防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
						路上に駐車する車両により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)	
車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	歩行者が横断歩道以外から車道に進入できる	歩行者の横断歩道以外からの車道進入を防止する				歩行者自転車用防護柵(横断防止用)			
横断歩道に接近する車両を予期せずに横断する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)							


検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
人対車両(横断中)事故	単路(2/2)	2)【信号が有る横断歩道】直進車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と横断歩道で衝突	赤信号への切り換え時に横断歩道に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号に切り替わる前に横断を開始した歩行者と横断歩道で衝突		直進車	高い速度で走行し、赤信号への切り換え時に横断歩道に無理に進入する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良		
								注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
								注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
								舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)		
								停止を促す	停止線(幅広化)		
								注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
			赤信号で横断歩道に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号で横断中の歩行者と横断歩道で衝突		直進車	信号を見落とし、赤信号時に横断歩道に進入する	西日等により、信号灯器を確認しづらい	信号灯器を認識しやすくする	信号灯器(LED化) 信号灯器(大型化) 信号機(増設)		
							カーブにより、信号灯器を確認しづらい	信号機を認識しやすい位置に移動する	信号機(設置位置改良)		
							クレストにより、信号灯器を確認しづらい	信号機(予告信号灯)	信号機(予告信号灯)		
							植栽により、信号灯器を確認しづらい	信号機(予告信号灯)	信号機(予告信号灯)		
							標識・看板により、信号灯器を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
							対向車のヘッドライトにより、信号灯器を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける	眩光防止板		
		青信号で横断歩道に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号内で横断しきれなかった歩行者と横断歩道で衝突		歩行者	横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断距離に対して、青時間が不足している	横断しきれない場合に、上下線の間で待機できるスペースを設ける	交通島			
						横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)				
						信号無視をして赤信号時に横断歩道を横断する	信号サイクル(歩行者赤時間)が長い	信号機(押しボタン式)			
		3)直進車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と車道で衝突	共通	共通	共通		歩行者	車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	横断需要に応じた横断施設を設置する	横断歩道(新設)
									横断歩道以外での横断を防止する	立体横断施設をバリアフリー対応にする	立体横断施設(バリアフリー化)
									歩行者の乱横断を予期せずに走行する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
									注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
									下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良
									注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する								舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)										

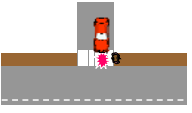
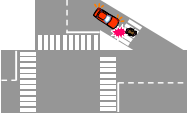
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
人対車両(横断中)事故	交差点 (1/6)	1)【無信号交差点】直進車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	交差点に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	 	共通	-	-	-	自動車と横断歩行者の動線を空間的に分離する	立体横断施設(新設)	
					共通	-	-	-	自動車と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号機(新設)	
					直進車	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま交差点に進入する	カーブにより、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良		
							注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)		
							クレストにより、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良		
							注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)		
							高架橋の橋脚により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)	
							立体横断施設の橋脚により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)		
							注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)		
							植栽により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
							標識・看板により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
							地上機器により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
							防護柵(ガードレール等)により、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
							横断歩道が暗いため、前方の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)		
					歩行者	横断歩道に接近する車両を十分に確認しないまま横断歩道を横断する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良		
							注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等)	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)	
							長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等)	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)
							-	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)		
							横断歩道を認識しづらい	横断歩道を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性)	路面表示(カラー舗装)	
							交差点を認識しづらい	交差点を認識しやすくする	路面表示(カラー舗装)	案内標識・警戒標識、法定外看板(交差点あり)	
					歩行者	横断歩道に接近する車両を十分に確認しないまま横断歩道を横断する	立体横断施設があるため、歩行者・自転車の本線の横断を予測しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)	
							カーブにより、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良		
							クレストにより、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良		
							高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)	
立体横断施設の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)									
注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)									
植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設									
標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設									
地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設									
防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良									
歩行者	車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	歩行者が横断歩道以外から車道に進入できる	歩行者の横断歩道以外からの車道進入を防止する	歩行者自転車用防護柵(横断防止用)							
		歩行者動線と横断歩道位置の整合を図る	横断歩道(前出し)								
		立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	立体横断施設をバリアフリー対応にする	立体横断施設(バリアフリー化)							
歩行者	横断歩道に接近する車両を予期せずに横断する	-	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	法定外看板(注意喚起)						

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
人対車両(横断中)事故	交差点(2/6)	2)【信号交差点】直進車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と横断歩道で衝突	赤信号への切り換え時に交差点に進入しようとした直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号に切替る前に横断を開始した歩行者と横断歩道で衝突		直進車	高い速度で走行し、赤信号への切り換え時に交差点に無理に進入しようとする	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良
					直進車	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等)	
					歩行者	青信号に切替る前に自動車を確認しないまま横断を開始する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	
					歩行者	青信号に切替る前に自動車を確認しないまま横断を開始する	注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)	
			赤信号への切り換え時に交差点に進入し通過しきれなかった直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号で横断を開始した歩行者と横断歩道で衝突		直進車	赤信号への切り換え時に、進入するか停止するか判断を誤って交差点に進入し、通過しきれない	交差点規模が大きく、交差点通過に時間がかかる	交差点規模を小さくする	交差点改良(コンパクト化)
					直進車	赤信号への切り換え時に交差点に無理に進入し、通過しきれない	交通量が多い流入部の青時間が短い	交差点規模を認識しやすくする	路面表示(カラー舗装)
					歩行者	青信号に切替る前、または、青信号に切り直後に、自動車を確認しないまま横断を開始する	注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)	
					歩行者	青信号に切替る前、または、青信号に切り直後に、自動車を確認しないまま横断を開始する	注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)	
			青信号切り直後に交差点に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号内で横断しきれなかった歩行者と横断歩道で衝突		歩行者	横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断距離に対して、青時間が不足している	横断距離を短くする	横断歩道(直交化)
					歩行者	横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断可能時間を確保する	交通島	
					歩行者	横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)	
					歩行者	横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)	
			赤信号で交差点に進入しようとした直進車(自動車・二輪車・自転車)が、青信号で横断中の歩行者と横断歩道で衝突		直進車	信号を見落とす、または、近接交差点の信号と見間違えて赤信号時に交差点に進入する	西日等により、信号灯器を確認しづらい	信号灯器を認識しやすくする	信号灯器(LED化)
							信号機(大型化)		
							信号機(増設)		
							信号機を認識しやすい位置に移動する	信号機(設置位置改良)	
信号機(予告信号灯)									
道路線形を改良する	線形改良								
視距を改良する	視距改良								
注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)								
法定外看板(注意喚起)									
青信号で交差点に進入しようとした直進車(自動車・二輪車・自転車)が、赤信号で横断する歩行者と横断歩道で衝突		歩行者	信号無視をして赤信号時に横断歩道を横断する	信号サイクル(歩行者赤時間)が長い	歩行者の横断需要に対応する	信号機(押しボタン式)			
				横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)				
				横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)				
				横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)				

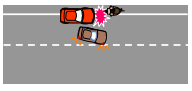


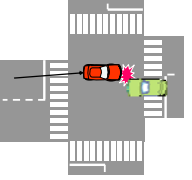
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
人対車両(横断中)事故	交差点(3/6)	③【信号・無信号交差点共通】左折車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	交差点を左折した左折車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突		左折車	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま左折する	高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
							標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
							地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
							防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
							角地の建築物等により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)
							横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)
							交差角が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	交差角を改良する	交差点改良(直交化)
							隅切り半径が大きいため、左折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)
							横断歩行者に気づいても回避が間に合わない速度で左折する	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなりやすい	横断歩道設置位置を改善する
			交差角が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなりやすい	交差角を改良する	交差点改良(直交化)				
			隅切り半径が大きいため、左折時の速度が高くなりやすい	隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)				
			本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に左折する	左折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	左折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設)			
			歩行者は立体横断施設を利用すると思い込み、歩行者の横断を予期せずに左折する	立体横断施設があるため、歩行者の本線の横断を予測しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
			歩行者の横断を予期せずに左折する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
			交差点を左折した左折車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突		歩行者	左折車を十分に確認しないまま横断歩道を横断する	高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
							標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
							地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
							防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
							角地の建築物等により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断距離に対して、青時間が不足している	横断距離を短くする 横断しきれない場合に、交差点内で待機できるスペースを確保する 横断可能時間を確保する					横断歩道(直交化) 交通島 信号現示改良(青時間再配分)		
車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	歩行者が横断歩道以外から車道に進入できる	歩行者の横断歩道以外からの車道進入を防止する					歩行者自転車用防護柵(横断防止用)		
立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	立体横断施設をバリアフリー対応にする	歩行者動線と横断歩道位置の整合を図る					横断歩道(前出し)		
左折車を予期せずに横断する	—	注意を喚起する					路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		



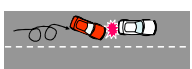
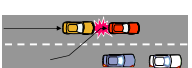
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
人対車両(横断中)事故	交差点(4/6)	4)【無信号交差点】右折車(自動車・二輪車)が歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	交差点を右折した右折車(自動車・二輪車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突		右折車	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま右折する	高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)	
						植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
						防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
						横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)	
						右折時に対向直進車と歩行者・自転車を同時に確認しづらい	右折車と対向直進車・横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号灯器(右折矢印)	
						右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	車両と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号現示改良(歩車分離式信号)	
						右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	右折車同士の並走を解消する	車線数の削減(右折車線1車線化)	
						右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	右折車の交差点内での走行位置を明確にする	導流表示(右折)	
						横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)	
				交差点が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)			
				右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示			
				—	横断歩道手前に、やむを得ない場合に衝突を回避できるスペースを設ける	横断歩道(セットバック)			
					右折車	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)	
						交差点が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)	
						右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示	
						本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設)
						歩行者は立体横断施設を利用すると思い込み、歩行者の横断を予期せずに右折する	立体横断施設があるため、歩行者・自転車の本線の横断を予測しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						歩行者の横断を予期せずに右折する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
					歩行者	高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						立体横断施設の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)	
						植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設							
地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設							
防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良							
車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	歩行者が横断歩道以外から車道に進入できる	歩行者の横断歩道以外からの車道進入を防止する	歩行者自転車用防護柵(横断防止用)						
車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	歩行者動線と横断歩道位置の整合を図る	横断歩道(前出し)						
車両が予期しづらい横断歩道以外を横断する	立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	立体横断施設をバリアフリー対応にする	立体横断施設(バリアフリー化)						
右折車を予期せずに横断する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)						

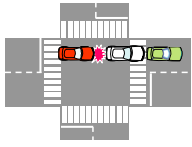
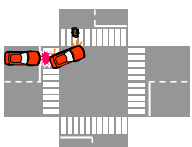
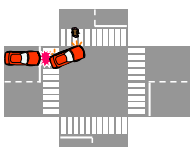
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
人対車両(横断中)事故	交差点(5/6)	5)【信号交差点】右折車(自動車・二輪車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突	交差点を右折した右折車(自動車・二輪車)が、横断中の歩行者と横断歩道または横断歩道付近で衝突		右折車	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま右折する	高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
							植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
							標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
							地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
							防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
							横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)
							右折時に対向直進車と歩行者・自転車を同時に確認しづらい	右折車と対向直進車・横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号灯器(右折矢印)
							右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	車両と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号現示改良(歩車分離式信号)
							横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)
							交差点が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)
							右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示
			—	横断歩道手前に、やむを得ない場合に衝突を回避できるスペースを設ける	横断歩道(セットバック)				
			横断歩行者に気づいても回避が間に合わない速度で右折する	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)			
				交差点が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)			
				右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示			
				本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設)		
				立体横断施設があるため、歩行者・自転車の本線の横断を予測しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
				—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
			右折車を十分に確認しないまま横断歩道を横断する	歩行者	高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					立体横断施設の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)		
					植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
					標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
					地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良							
車両が予測しづらい横断歩道以外を横断する	歩行者が横断歩道以外から車道に進入できる	歩行者の横断歩道以外からの車道進入を防止する		歩行者自転車用防護柵(横断防止用)					
立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	立体横断施設があるが、バリアフリーに対応していない	歩行者動線と横断歩道位置の整合を図る		横断歩道(前出し)					
右折車を予測せずに横断する	—	立体横断施設をバリアフリー対応にする		立体横断施設(バリアフリー化)					
赤信号への切り換え時に交差点に進入した右折車(自動車・二輪車)が、青信号内で横断しきれなかった歩行者と横断歩道で衝突	右折車	赤信号への切り換え時に、進入するか停止するかを判断を誤って交差点に進入し、通過しきれない		交差点規模が大きく、交差点通過に時間がかかる	交差点規模を小さくする	路面表示(カラー舗装) 停止線(前出し)			
		—		—	交差点規模を認識しやすくする	路面表示(カラー舗装)			
		—		—	停止を促す	停止線(幅広化)			
	歩行者	赤信号への切り換え時に交差点に無理に進入し、通過しきれない	右折可能時間が短い	右折可能時間を確保する	信号灯器(右折矢印) 信号現示改良(時差式等)				
		横断歩道を青時間内に渡りきれずに横断歩道上に残留する	横断距離に対して、青時間が不足している	横断距離を短くする	横断歩道(直交化)				
		—	—	横断しきれない場合に、交差点内で待機できるスペースを確保する	交通島				
—	—	横断可能時間を確保する	信号現示改良(青時間再配分)						


検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案					
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種					
人対車両(横断中)事故	交差点(6/6)	6)【細街路との無信号交差点】進入車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と横断歩道で衝突	共通		—	—	—	自動車と横断歩行者の動線を空間的に分離する	細街路の移設・集約					
			共通		—	—	—	自動車と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号機(新設)					
			進入車		交差点道路から交差点へ進入しようとした進入車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と横断歩道で衝突	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま交差点に進入する	—	—	高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)			
									立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)			
									植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	立体横断施設の撤去・移設			
									標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)			
									地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	法定外看板(注意喚起)			
									防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	植栽の整理または撤去・移設			
									横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	標識・看板等の整理または撤去・移設			
									角地の建築物等により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	横断歩道付近を確認しやすくする	地上機器等の整理または撤去・移設			
									横断歩道に気づかないまま交差点に進入する、または、横断歩行者に気づくのが遅れる	横断歩道を認識しやすくする	ガードパイプへの改良			
									区画線・道路標示(高視認性)					
	路面表示(カラー舗装)													
	歩行者	横断歩道に接近する車両を十分に確認しないまま横断歩道を横断する	—	—	—	—	植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設					
							標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設					
							地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設					
							防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良					
							角地の建築物等により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	横断歩道付近を確認しやすくする	道路反射鏡					
							—	—	—					
	共通		—	—	—	—	導流路での交錯の機会を無くす	導流路の廃止						
	7)【信号・無信号交差点共通】左折車(自動車・二輪車・自転車)が歩行者と左折導流路の横断歩道または横断歩道付近で衝突		左折導流路を走行する左折車(自動車・二輪車・自転車)が、横断中の歩行者と左折導流路内の横断歩道または横断歩道付近で衝突	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま左折する	—	—	植栽により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設					
							標識・看板により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設					
							地上機器により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設					
							防護柵(ガードレール等)により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良					
横断歩道が暗いため、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい							道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)						
左折導流路の曲線半径が大きいため、左折時の速度が高くなり、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい							導流路の曲線半径を改良する	交差点改良(導流路半径の縮小)						
横断歩行者に気づいても回避が間に合わない速度で左折する							導流路の曲線半径を改良する	交差点改良(導流路半径の縮小)						
歩行者							横断歩道に接近する車両を十分に確認しないまま横断歩道を横断する	—	—	—	—	植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
												標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
												地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
												防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
横断歩道に接近する車両を予期せずに横断する							—	—	—	—	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)	
法定外看板(注意喚起)														



検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案	
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種	
正面衝突事故	単路 (1/2)	1)直進車(自動車・二輪車)が対向車と車道で衝突	共通		—	—	—	直進車と対向直進車の動線を空間的に分離する	中央帯(新設)	
					—	—	—	車線の幅員が狭いため、適切な幅員に拡幅する	道路拡幅	
					—	—	—	—	はみ出しを認識させて車線逸脱を抑制する	ランブルストリップス 道路鈺 区画線・道路標示(リブ付き)
					車線を逸脱した直進車(自動車・二輪車)が、対向車線を走行する対向車と車道で衝突	直進車	前方の線形を十分に確認しないままカーブ区間に進入し、車線を逸脱する	カーブにより、前方の線形を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良
			視距を改良する	視距改良						
			前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化)						
				区画線・道路標示(高視認性)						
				道路鈺						
				ゴム製ポール						
			路面表示(カラー舗装)	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)						
			注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)						
			道路線形を改良する	縦断線形改良						
			前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化)						
			注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)						
			法定外看板(注意喚起)	法定外看板(注意喚起)						
			下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良						
			注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等)						
				路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)						
			法定外看板(注意喚起)	法定外看板(注意喚起)						
			カーブ手前が直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等)						
			注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等)						
			法定外看板(注意喚起)	法定外看板(注意喚起)						
			急カーブであるため横滑りが発生しやすい	道路線形を改良する						
				片勾配を改良する						
	舗装改良(滑り止め舗装)									
路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	路面が凍結しやすく、すべりやすい	路面の凍結を防止する								
	雨天時の水はけが悪く、すべりやすい	水はけを良くする								
	グレーチングがあり、すべりやすい	スリップを防止する								
		蓋の改良								
走行位置を十分に確認しないまま車線を逸脱する	雨天時の水はけが悪く、走行位置を認識しづらい	水はけを良くする								
	雨天時の水はけが悪く、走行位置を認識しづらい	雨天時の走行位置を認識しやすくする								
漫然運転や眠気により車線を逸脱したことに気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	—	はみ出しを認識させて車線逸脱を抑制する								
	—	注意を喚起する								
	—	道路線形を改良する								
	—	視距を改良する								
追い越しのために対向車線を走行した直進車(自動車・二輪車)が、対向車と車道で衝突	直進車	前方の車両を追い越そうとして、対向車線を十分に確認しないまま対向車線を走行する	カーブにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良					
				視距を改良する	視距改良					
				追い越しを抑制する	ランブルストリップス 道路鈺					
				道路線形を改良する	縦断線形改良					
				前方の道路を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化)					
				追い越しを抑制する	ランブルストリップス 道路鈺					
				駐停車スペースと本線が非分離又は分離が不十分であるため、駐停車車両がいると後続直進車の通行を妨げる	駐停車スペースを本線と分離する					
				バスの停車スペースと本線が非分離又は分離が不十分であるため、バスが停車すると後続直進車の通行を妨げる	バスの停車による通行阻害を解消する					
				追い越しの機会がない区間が長く続いている	追い越しの機会を設ける					
				付加追越車線	付加追越車線					
				登坂車線	登坂車線					
				前方の自転車を追い越そうとして、安全確認を十分にしないまま対向車線を走行する	自転車通行空間が不足している	自転車通行空間を整備する				
							自転車道、自転車専用通行帯等			

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案				
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種				
正面衝突事故	単路 (2/2)	2)直進車(自動車・二輪車・自転車)が逆走する自転車と路肩で衝突	共通		—	—	—	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等				
			右折待機車両を避けて路肩側に逸脱した直進車(自動車)が、逆走する自転車と路肩で衝突		直進車	本線上で右折待機する車両を避けようとして路肩にはみ出して走行する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)				
			本線の滞留車両を避けて路肩を走行する二輪車・自転車が、逆走する自転車と路肩で衝突		二輪車・自転車	路肩をすり抜けて走行する	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	右折を禁止する	中央帯(開口部の閉鎖) ゴム製ポール				
		3)自転車が対向自転車と自歩道で衝突		自転車	対向自転車に十分注意しないまま、路肩をすり抜けて走行する	—	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	—	洪水を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消			
									自転車を避けようとした自転車等が、対向自転車と自歩道で衝突	歩行者・自転車等を避けようとして、蛇行運転をする	自転車と歩行者の通行空間が分離されていない	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
									自転車	歩行者・自転車等を避けようとして、蛇行運転をする	自転車と歩行者の通行空間が分離されていない	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等
	交差点	1)直進車(自動車・二輪車)が対向車と交差点で衝突		直進車	対向直進車に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	—	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良				
								注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
								注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
								舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)				
交差点内での走行位置を十分に確認しないまま走行する	交差点が緩やかなカーブやくいちがい交差であるため、走行位置を認識しづらい	交差点の線形を改良する	交差点改良(くいちがい交差の改良)										
交差点内での車両の走行位置を適切な位置に誘導する	—	導流表示 交差点中心表示	—										

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案	
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種	
追突事故	単路	1)後続車(自動車・二輪車・自転車)が前方車と車道で衝突	単路を走行する後続車(自動車・二輪車・自転車)が、減速・停止または車線変更を行った前方車と車道で衝突	   	後続車	—	—	前方の沿道施設進入車両と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設) 右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)	
						—	—	前方の沿道施設進入車両と後続直進車の動線を空間的に分離する	道路幅幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消	
						—	カーブにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する 視距を改良する	線形改良 視距改良	
						前方の交通状況を十分に確認しないまま走行する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	クレストにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する 注意を喚起する	縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	対向車のヘッドライトにより、前方の道路を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける 下り勾配を緩和または解消する	眩光防止板 縦断線形改良	
						前方車の停止・減速や車線変更(割り込み)に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	路面が凍結しやすく、すべりやすい	路面の凍結を防止する	雪寒対策(薬剤散布) 雪寒対策(融雪施設) 舗装改良(グルーピング)
						—	雨天時の水はけが悪く、すべりやすい	水はけを良くする	舗装改良(排水性舗装)	
						—	グレーチングがあり、すべりやすい	スリップを防止する	蓋の改良	
						—	漫然運転や眠気により前方車の急停止・急減速に気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	長い直線区間であるため、注意が散漫になりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						—	脇見運転により、前方車の急停止・急減速に気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	交通安全施設以外で目を引く対象物が存在している	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						—	前方車の急停止・急減速や車線変更(割り込み)を予期しておらず、気づくのが遅れる	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						—	沿道施設進入時に沿道施設出入口に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速または車線変更を行う	沿道施設出入口を認識しづらい	沿道施設出入口を認識しやすくする	視線誘導標(新設) 路面表示(カラー舗装)
						—	—	沿道施設出入口を集約または移設する	施設出入口の集約または本線外への移設 歩道切り下げ部の廃止	
						—	沿道施設出入口を認識しづらい	沿道施設出入口を認識しやすくする	視線誘導標(新設) 路面表示(カラー舗装)	
						—	沿道施設出入口を集約または移設する	施設出入口の集約または本線外への移設 歩道切り下げ部の廃止		
						—	高架橋の橋脚により、沿道施設出入口を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	立体横断施設の橋脚により、沿道施設出入口を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)	
						—	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	植栽により、沿道施設出入口を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						—	標識・看板により、沿道施設出入口を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						—	地上機器により、沿道施設出入口を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
—	防護柵(ガードレール等)により、沿道施設出入口を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良							
—	中央帯の開口部で右折または転回しようとして、本線上で急停止・急減速または車線変更を行う	中央帯開口部の待機スペースが不十分のため、右折待ちをすると後続直進車の進行を妨げる	右折車の待機スペースを確保する 右折または転回をできなくする	導流帯(車道中央部のゼブラ表示) 中央帯(開口部の閉鎖)						
—	路上駐停車車両との衝突を回避しようとして、本線上で急停止・急減速または車線変更を行う	車両が駐停車すると、車体の一部が本線にはみ出し本線走行車の通行を妨げる	駐停車スペースを本線と分離する	停車帯の整備						
—	停車したバスとの衝突を回避しようとして、本線上で急停止・急減速または車線変更を行う	バスの停車スペースと本線が非分離又は分離が不十分であるため、バスが停車すると後続直進車の通行を妨げる	バスの停車による通行阻害を解消する	バスベイの整備						
—	車線運用の変化に気づくのが遅れ、急な車線変更を行う	直進車線が左折車線に変わる、または、2車線から1車線へのすりつけがある等、車線運用が変化する	車線運用の変化を予め知らせる	案内標識・警戒標識 法定外看板(進行方向別通行区分の明示) 道路標示						

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案	
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種	
追突事故	交差点(1/5)	1)【信号・無信号交差点共通】後続車(自動車・二輪車・自転車)が前方車と交差点で衝突 [次ページに続く]	交差点に進入した後続車(自動車・二輪車・自転車)が、先詰まり等により減速・停止した前方車と交差点で衝突		後続車	—	—	—	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消
						流出側の渋滞状況を十分に確認しないまま交差点に進入する	カーブにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良	
						—	クレストにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						先詰まりなどに気付いても回避が間に合わない速度で交差点に進入する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	道路線形を改良する	縦断線形改良	
						—	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	—	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良	
						—	—	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	—	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
						—	—	停止を促す	停止線(幅広化)	
	交差点(1/5)	2)【信号・無信号交差点共通】前方車(自動車・二輪車・自転車)が後続車と交差点で衝突	交差点に進入した後続車(自動車・二輪車・自転車)が、左折中に横断歩道前で減速・停止した前方車と交差点で衝突		後続車	—	—	—	横断歩行者、自転車通過時の左折車の待機スペースを確保する	横断歩道(セットバック)
						前方車の停止・減速に気づいても回避が間に合わない速度で直進する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	前方の左折車両と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設)	
						—	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消	
						—	—	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良	
						—	—	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	—	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
						—	—	交差点角が鈍角の道路構造であるため、横断歩道手前での速度が高くなりやすい	交差点角を改良する	交差点改良(直交化)
						—	—	隅切り半径が大きい場合、左折時の速度が高くなりやすい	隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)
						—	—	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
交差点(1/5)	3)【信号・無信号交差点共通】前方車(自動車・二輪車・自転車)が後続車と交差点で衝突	交差点に進入した後続車(自動車・二輪車・自転車)が、左折中に横断歩道前で減速・停止した前方車と交差点で衝突		前方車	横断中または横断を開始しようとする歩行者や、左折先の渋滞状況等を十分に確認しないまま左折し、横断歩道を通過する直前で急停止・急減速を行う	高架橋の橋脚により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					—	立体横断施設の橋脚により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)		
					—	植栽により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
					—	標識・看板により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
					—	地上機器により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
					—	防護柵(ガードレール等)により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
					—	横断歩道が暗いため、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)		
					—	角地の建築物等により、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					—	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)		
					—	—	交差点角が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路の確認が不十分になりやすい	交差点角を改良する	交差点改良(直交化)	
—	—	隅切り半径が大きい場合、左折時の速度が高くなり横断歩道、横断歩道付近または左折先の道路の確認が不十分になりやすい	隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)						



検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案				
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種				
追突事故	交差点 (2/5)	[前ページの続き] 1)【信号・無信号 交差点共通】後続車(自動車・二輪車・自転車)が前方車と交差点で衝突	交差点に進入した後続車(自動車・二輪車・自転車)が、右折中に横断歩道手前で減速・停止した前方車と交差点で衝突		-	-	-	前方の右折待機車両と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設)				
								渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消				
								前方車の停止・減速に気づいても回避が間に合わない速度で直進する	後続車	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良	
										注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
										長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
								前方車の停止・減速に気づいても回避が間に合わない速度で右折する	後続車	交差角が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなりやすい	交差角を改良する	舗装改良(滑り止め舗装)	
										右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示	
								前方車	横断中または横断を開始しようとする歩行者や、対向直進車、右折先の渋滞状況等を十分に確認しないまま右折し、右折中に急停止・急減速を行う	-	高架橋の橋脚により、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
											立体横断施設の橋脚により、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
											注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
											植栽により、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
											標識・看板により、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
											地上機器により、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
											防護柵(ガードレール等)により、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
											横断歩道が暗いため、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)
											横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)
											交差角が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路の確認が不十分になりやすい	交差角を改良する	交差点改良(直交化)
											右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近、対向車線または右折先の道路の確認が不十分になりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示
											右折時に対向車線、横断歩道または横断歩道付近を同時に確認しづらい	右折車と対向直進車・横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号灯器(右折矢印)
									車両と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号現示改良(歩車分離式信号)			
右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	右折車同士の並走を解消する	車線数の削減(右折車線1車線化)											
	右折車の交差点内での走行位置を明確にする	導流表示(右折)											
-	横断歩道手前に、やむを得ない場合に衝突を回避できるスペースを設ける	横断歩道(セットバック)											

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
追突事故	交差点 (3/5)	2)【細街路との無信号交差点】後続車(自動車・二輪車・自転車)が、交差点内で減速・停止を行った前方車と交差点で衝突	交差点に進入した後続車(自動車・二輪車・自転車)が、交差点内で減速・停止を行った前方車と交差点で衝突	 	後続車	前方の交通状況を十分に確認しないまま走行する	カーブにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する 視距を改良する 注意を喚起する	線形改良 視距改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						前方の交通状況を十分に確認しないまま走行する	クレストにより、前方の道路を確認しづらい	道路線形を改良する 注意を喚起する	縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						前方車の停止・減速や車線変更(割り込み)に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						前方車の停止・減速や車線変更(割り込み)に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						—	—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)
						路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	路面が凍結しやすく、すべりやすい	路面の凍結を防止する	雪寒対策(薬剤散布) 雪寒対策(融雪施設) 舗装改良(グレーピング)
						路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	雨天時の水はけが悪く、すべりやすい	水はけを良くする	舗装改良(排水性舗装)
						路面凍結等の路面状況に応じた運転をせず、制御不能となる	グレーチングがあり、すべりやすい	スリップを防止する	蓋の改良
						漫然運転や眠気により前方車の急停止・急減速に気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	長い直線区間であるため、注意が散漫になりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						脇見運転により、前方車の急停止・急減速に気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	交通安全施設以外で目を引く対象物が存在している	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						前方車の車線変更(割り込み)を予期しておらず、気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						交差道路に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	交差道路(細街路)を認識しづらい	交差道路(細街路)を認識しやすくする 交差道路(細街路)を廃止する	視線誘導標(新設) 路面表示(巻込み部・ドットライン表示の設置) 路面表示(カラー舗装) 案内標識・警戒標識、法定外看板(交差点あり) 細街路の移設・集約
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	高架橋の橋脚により、交差道路(細街路)を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	立体横断施設の橋脚により、交差道路(細街路)を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する 注意を喚起する	立体横断施設(撤去・移設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	植栽により、交差道路(細街路)を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	標識・看板により、交差道路(細街路)を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	地上機器により、交差道路(細街路)を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	防護柵(ガードレール等)により、交差道路(細街路)を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
					交差道路からの進入車両に気づくのが遅れ、本線上で急停止・急減速を行う	交差道路が暗いため、交差道路(細街路)を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)	

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
追突事故	交差点(4/5)	③【信号・無信号交差点共通】後続車(自動車・二輪車・自転車)が前方車と交差点付近で衝突	共通		後続車	前方車の停止・減速に気付いても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良		
							長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							—	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、ブルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
			赤信号への切り換え時に交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、減速・停止した前方車と交差点手前で衝突		後続車	信号を見落とす、または、近接交差点の信号と見間違えて赤信号時に交差点に進入しようとする	西日等により、信号灯器を確認しづらい	信号灯器を認識しやすくする	信号灯器(LED化) 信号灯器(大型化) 信号機(増設)		
							カーブにより、信号灯器を確認しづらい	信号機を認識しやすい位置に移動する	信号機(予告信号灯) 信号機(増設)		
							クレストにより、信号灯器を確認しづらい	信号機の存在を予め知らせる	信号機(予告信号灯)		
							植栽により、信号灯器を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良		
							標識・看板により、信号灯器を確認しづらい	視距を改良する	視距改良		
							交差点が近接している	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
			交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、先詰まり等により減速・停止した前方車と交差点付近で衝突		後続車	前方の交通状況を十分に確認しないまま交差点に進入しようとする	—	信号機の存在を予め知らせる	信号機(予告信号灯)		
							—	道路線形を改良する	縦断線形改良		
							—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
		カーブにより、交差点流出先の道路を確認しづらい					植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設			
		クレストにより、交差点流出先の道路を確認しづらい					標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設			
		—					交差点を集約する	細街路の移設・集約			
		交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、右左折待ちのため減速・停止した前方車と交差点付近で衝突		—	—	—	—	—	—	—	—
						前方車	横断中または横断を開始しようとする歩行者や、対向直進車を十分に確認しないまま右左折し、交差点内で急停止・急減速を行う	カーブにより、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良	
								クレストにより、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良	
								高架橋の橋脚により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
								立体横断施設の橋脚により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)	
								植栽により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
				標識・看板により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する			植栽の整理または撤去・移設			
				—	—	—	—	地上機器により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
								防護柵(ガードレール等)により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
横断歩道が暗いため、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	道路を明るくする							道路照明(新設、改良、増設、移設等)			
角地の建築物等により、横断歩道、横断歩道付近または対向車線を確認しづらい	注意を喚起する							路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
交差角が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近または対向車線の確認が不十分になりやすい	交差角を改良する							交差点改良(直交化)			
隅切り半径が大きい場合、左折時の速度が高くなり、横断歩道、横断歩道付近または対向車線の確認が不十分になりやすい	隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)									
交差点に進入しようとした後続車(自動車・二輪車・自転車)が、前方の滞留等を避けて車線変更を行った前方車と交差点付近で衝突		後続車	前方車の車線変更(割り込み)を予期しておらず、気づくのが遅れる	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
				前方車	前方の滞留等を避けようとして、隣の車線の安全確認を十分にしないまま車線変更を行う	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
						—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
		—	注意を喚起する			路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
		車線運用の変化に気づくのが遅れ、急な車線変更を行う	—	—	—	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
						—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
—	注意を喚起する					路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
追突事故	交差点 (5/5)	4)【信号・無信号 交差点共通】後続車(自動車・二輪車・自転車)が前方車と左折導流路で衝突	共通		—	—	—	導流路を廃止する	導流路の廃止
			後続車	前方車の停止・減速に気づいても回避が間に合わない速度で左折する			左折導流路の曲線半径が大きいため、左折時の速度が高くなりやすい	導流路の曲線半径を改良する	交差点改良(導流路半径の縮小)
			前方車	横断中または横断を開始しようとする歩行者や、本線走行車両を十分に確認しないまま走行し、導流路走行中に急停止・急減速を行う		植栽により、導流路の横断歩道、横断歩道付近または流出先の道路を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						標識・看板により、導流路の横断歩道、横断歩道付近または流出先の道路を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						地上機器により、導流路の横断歩道、横断歩道付近または流出先の道路を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
						防護柵(ガードレール等)により、導流路の横断歩道、横断歩道付近または流出先の道路を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
				横断歩道が暗いため、導流路の横断歩道、横断歩道付近または流出先の道路を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)			
	渋滞等により合流部での合流機会が少ない	合流部で合流しやすくする(合流のための車線長を確保する)	交差点改良(合流車線長の延長)						
	スムーズに合流できずに合流部手前で急停止・急減速を行う	合流先(本線)の交通量が多く、車両間隔が短いため、合流部での合流機会が少ない	合流部で合流しやすくする(合流のための車線長を確保する)	交差点改良(合流車線長の延長)					

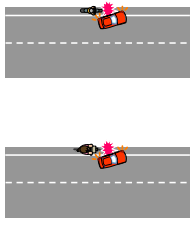

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
出会い頭事故	単路 (1/2)	1)沿道施設からの進入車が本線進入車(自動車・二輪車・自転車)と車道で衝突	本線を走行する車両の間をぬって本線に進入しようとした進入車(自動車・二輪車・自転車)が、本線直進車と車道で衝突		共通	—	—	沿道施設出入口を集約または移設する	施設出入口の集約または本線外への移設 歩道切り下げ部の廃止
					進入車	本線直進車を十分に確認しないまま本線に進入する	本線のカーブにより、本線直進車を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良
					本線のクレストにより、本線直進車を確認しづらい	視距を改良する	視距改良		
					高架橋の橋脚により、本線直進車を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良		
					立体横断施設の橋脚により、本線直進車を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					植栽により、本線直進車を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
					標識・看板により、本線直進車を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
					地上機器により、本線直進車を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
					防護柵(ガードレール等)により、本線直進車を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
					路上に駐停車する車両により、本線直進車を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)		
					本線直進車の走行位置、速度を見誤ったまま本線に進入する	—	直進車の走行位置、速度を認識しやすくする	視線誘導標(新設)	
					直進車	沿道施設出入車両に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
					長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					沿道施設出入車両の存在を予期しないまま走行する	—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
					—	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	

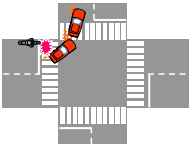
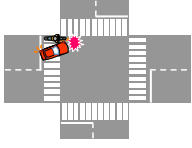
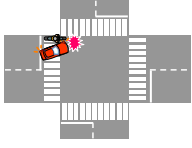
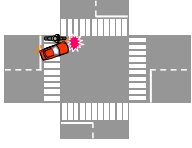
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
出会い頭事故	単路(2/2)	2) 沿道施設からの進入車(自動車・二輪車・自転車)が本線を直進する二輪車・自転車で衝突	本線を走行する車両の間をぬって本線に進入しようとした進入車(自動車・二輪車・自転車)が、路肩を走行する二輪車・自転車で衝突		進入車	二輪車・自転車を十分に確認しないまま本線に進入しようとする	本線のカーブにより、本線の路肩を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良
							視距を改良する	視距改良	
							本線のクレストにより、本線の路肩を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良
							高架橋の橋脚により、本線の路肩を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、本線の路肩を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
							注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
							植栽により、本線の路肩を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
							標識・看板により、本線の路肩を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
							地上機器により、本線の路肩を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
							防護柵(ガードレール等)により、本線の路肩を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
							本線を確認しやすくする	道路反射鏡	
							沿道施設出入口直近の建築物等により、本線の路肩を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
		二輪車・自転車	沿道施設出入車両に気づいても回避が間に合わない速度で路肩を走行する	二輪車の走行位置、速度を見誤ったまま本線に進入しようとする	—	二輪車の走行位置、速度を認識しやすくする	視線誘導標(新設)		
				注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
				自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま本線に進入しようとする	自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等		
				路肩をすり抜けて走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良		
					注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
				長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
		路肩の幅員が広い	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)					
			本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消				
		路肩の幅員が広い	すり抜けを抑制する	路肩縮小					
		沿道施設出入車両の存在を予期しないまま路肩を走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
		3) 沿道施設からの進入車(自動車・二輪車・自転車)が直進する自転車と自歩道で衝突	本線に進入するために自歩道で待機しようとした進入車(自動車・二輪車・自転車)が、自歩道を走行する自転車と自歩道で衝突		進入車	自歩道を走行する自転車を十分に確認しないまま本線に進入する	高架橋の橋脚により、自歩道を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、自歩道を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)								
植栽により、自歩道を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する						植栽の整理または撤去・移設		
標識・看板により、自歩道を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する						標識・看板等の整理または撤去・移設		
地上機器により、自歩道を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する						地上機器等の整理または撤去・移設		
防護柵(ガードレール等)により、自歩道を確認しづらい	防護柵を改良する						ガードパイプへの改良		
自歩道を確認しやすくする	道路反射鏡								
沿道施設出入口直近の建築物等により、自歩道を確認しづらい	注意を喚起する						路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
歩道部分が暗いため、自歩道を確認しづらい	道路を明るくする						道路照明(新設、改良、増設、移設等)		
自転車	沿道施設出入車両の存在を予期しないまま走行する						—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
出会い頭事故	交差点 (1/3)	1)【無信号交差点】交差道路からの進入車(自動車・二輪車・自転車)が本線直進車と交差点で衝突	共通		—	—	—	本線直進車と交差道路からの進入車の動線を空間的に分離する	立体交差化
			共通		—	—	—	本線直進車と交差道路からの進入車の動線を空間的に分離する 本線直進車と交差道路からの進入車の動線を時間的に分離する 交差道路からの直進または右折をできなくする	細街路の移設・集約 信号機(新設) 中央帯(新設または開口部の閉鎖)
			進入車		本線を走行する車両の間をぬって交差道路から進入した進入車(自動車・二輪車・自転車)が、本線を走行する直進車と交差点で衝突	本線のカーブにより、本線直進車を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良	
					本線のクレストにより、本線直進車を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良		
					高架橋の橋脚により、本線直進車を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					立体横断施設の橋脚により、本線直進車を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する 注意を喚起する	立体横断施設(撤去・移設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					植栽により、本線直進車を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
					標識・看板により、本線直進車を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
					地上機器により、本線直進車を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
					防護柵(ガードレール等)により、本線直進車を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
					本線を確認しやすくする	道路反射鏡			
					角地の建築物等により、本線直進車を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
			直進車		本線を走行する車両の間をぬって交差道路から進入した進入車(自動車・二輪車・自転車)が、本線を走行する直進車と交差点で衝突	交差点であることが分かりづらい	交差点を認識しやすくする	路面表示(カラー舗装) 案内標識・警戒標識、法定外看板(交差点あり)	
					交差点に気づかない、または、交差道路との主従関係を誤解したまま、交差点に進入する	交差道路との主従関係が分かりづらい	主従関係を認識しやすくする	路面表示(カラー舗装) 路面表示(巻込み部・ドットライン表示の設置) 主道路側に中央線設置	
					本線直進車の走行位置、速度を見誤ったまま交差点に進入する	—	直進車の走行位置、速度を認識しやすくする 注意を喚起する	視線誘導標(新設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					交差道路からの進入車両に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					—	—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
					交差道路からの進入車両を予期しないまま走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 路面表示(巻込み部・ドットライン表示の設置) 法定外看板(注意喚起)	

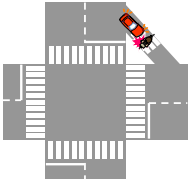


検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
出会い頭事故	交差点 (2/3)	2)【無信号交差点】交差道路からの進入車(自動車・二輪車・自転車)が流出側の路肩を走行する二輪車・自転車と交差点の流出側で衝突	共通		-	-	-	本線直進車と交差道路からの進入車の動線を空間的に分離する 本線直進車と交差道路からの進入車の動線を時間的に分離する 交差道路からの直進または右折をできなくする	細街路の移設・集約 信号機(新設) 中央帯(新設)		
						進入車		流出側の二輪車・自転車を十分に確認しないまま交差点に進入する	本線のカーブにより、流出側の路肩を確認しづらい 本線のクレストにより、流出側の路肩を確認しづらい 高架橋の橋脚により、流出側の路肩を確認しづらい 立体横断施設の橋脚により、流出側の路肩を確認しづらい 植栽により、流出側の路肩を確認しづらい 標識・看板により、流出側の路肩を確認しづらい 地上機器により、流出側の路肩を確認しづらい 防護柵(ガードレール等)により、流出側の路肩を確認しづらい 角地の建築物等により、流出側の路肩を確認しづらい	道路線形を改良する 道路線形を改良する 注意を喚起する 立体横断施設を撤去または移設する 注意を喚起する 植栽を整理または撤去・移設する 標識・看板等を整理または撤去・移設する 地上機器等を整理または撤去・移設する 防護柵を改良する 流出側の路肩を確認しやすくする 注意を喚起する	縦線形改良 縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起) 立体横断施設(撤去・移設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起) 植栽の整理または撤去・移設 標識・看板等の整理または撤去・移設 地上機器等の整理または撤去・移設 ガードパイプへの改良 道路反射鏡 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
				二輪車の走行位置、速度を見誤ったまま交差点に進入する			-	二輪車の走行位置、速度を認識しやすくする 注意を喚起する	視線誘導標(新設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
				自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま交差点に進入する			自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等		
				交差道路からの進入車両に気づいても回避が間に合わない速度で路肩を走行する			下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							-	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)		
				路肩をすり抜けて走行する			本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい 路肩の幅員が広いため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する すり抜けを抑制する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消 路肩縮小		
				交差道路からの進入車両を予期しないまま路肩を走行する			-	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 路面表示(巻込み部・ドットライン表示の設置) 法定外看板(注意喚起)		

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
出会い頭事故	交差点 (3/3)	3)【信号交差点】 本線直進車(自動車・二輪車・自転車)が交差道路からの進入車と交差点で衝突			直進車	赤信号への切り換え時に、進入するか停止するかの判断を誤って交差点に進入し、通過しきれない	交差点規模が大きく、交差点通過に時間がかかる	交差点内の通過距離を短縮する	交差点改良(コンパクト化) 停止線(前出し)		
						赤信号への切り換え時に交差点に無理に進入し、通過しきれない	交通量が多い流入部の青時間が短い	交差点内の残留を抑制する	信号現示改良(クリアランス時間延長等)		
					進入車	青信号への切り換え時、または、青信号に切り換え直後に、交差点内の状況を十分に確認しないまま走行する	—	交差点規模を認識しやすくする	路面表示(カラー舗装)		
						注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
					直進車	赤信号で交差点に進入した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、交差道路を青信号で走行する進入車と交差点で衝突		信号を見落とす、または、近接交差点の信号と見間違えて赤信号時に交差点に進入する	西日等により、信号灯器を確認しづらい	信号灯器を認識しやすくする	信号灯器(LED化) 信号灯器(大型化) 信号機(増設)
										信号機を認識しやすい位置に移動する	信号機(設置位置改良)
									カーブにより、信号灯器を確認しづらい	信号機が存在を予め知らせる	信号機(予告信号灯)
										道路線形を改良する	線形改良
									視距を改良する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
										信号機が存在を予め知らせる	信号機(予告信号灯)
	クレストにより、信号灯器を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良								
		注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)								
	植栽により、信号灯器を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設								
	標識・看板により、信号灯器を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設								
	交差点が近接している	交差点を集約する	細街路の移設・集約								
	4)【無信号交差点】 交差道路からの進入車(自動車・二輪車・自転車)が直進する自転車と横断歩道で衝突	本線を走行する車両の間をぬって交差道路から進入しようとした進入車(自動車・二輪車・自転車)が、横断歩道を走行する自転車と横断歩道で衝突		自転車 自転車を十分に確認しないまま交差点に進入する	高架橋の橋脚により、歩道を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
						立体横断施設の橋脚により、歩道を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)			
							注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
						植栽により、歩道を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設			
							標識・看板により、歩道を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
地上機器により、歩道を確認しづらい						地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設				
						防護柵(ガードレール等)により、歩道を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良			
角地の建築物等により、歩道を確認しづらい						歩道を走行する自転車を確認しやすくする	道路反射鏡				
						注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
道路が暗いため、歩道を確認しづらい					道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)					
自転車	交差道路からの進入車両を予期しないまま走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)							

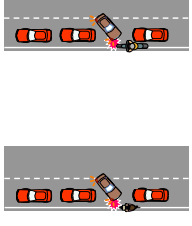

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案		
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種		
左折時事故	単路	1) 左折車(自動車・二輪車)が直進する二輪車・自転車と路肩で衝突	沿道施設へ左折した左折車(自動車・二輪車)が、路肩を走行する二輪車・自転車と路肩で衝突		共通	—	—	沿道施設出入口を集約または移設する	施設出入口の集約または本線外への移設 歩道切り下げ部の廃止		
					左折車	沿道施設出入口に気づくのが遅れて急に左折する	立体横断施設の橋脚により、沿道施設出入口を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)		
							注意を喚起する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							高架橋の橋脚により、沿道施設出入口を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							植栽により、沿道施設出入口を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
							標識・看板により、沿道施設出入口を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
							地上機器により、沿道施設出入口を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
							防護柵(ガードレール等)により、沿道施設出入口を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
							路上に駐停車する車両により、沿道施設出入口を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)		
							沿道施設出入口を認識しづらい	沿道施設出入口を認識しやすくする	視線誘導標(新設) 路面表示(カラー舗装)		
							本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に左折する	左折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	左折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設)	
							二輪車・自転車を十分に確認しないまま左折する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
							二輪車・自転車の走行位置、速度を見誤ったまま左折する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま左折する	自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等			
					二輪車・自転車	前方車の左折に気づいても回避が間に合わない速度で路肩を走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良		
							注意を喚起する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
						路肩をすり抜けて走行する	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消		
							路肩の幅員が広いため、路肩のすり抜けが発生しやすい	すり抜けを抑制する	路肩縮小		
							前方車の左折を予期しておらず十分注意しないまま、路肩をすり抜けて走行する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					左折車	沿道施設へ左折した左折車(自動車・二輪車・自転車)が、自歩道を走行する自転車と自歩道で衝突		自歩道を走行する自転車を十分に確認しないまま左折する	立体横断施設の橋脚により、自歩道を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
									注意を喚起する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
									植栽により、自歩道を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
									標識・看板により、自歩道を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
地上機器により、自歩道を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設									
防護柵(ガードレール等)により、自歩道を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良									
本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に左折する	歩道部分が暗いため、自歩道を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)								
	路上に駐停車する車両により、自歩道を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)								
	左折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	左折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設)								
	自転車	左折車を予期しないまま走行する	—	注意を喚起する				路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			


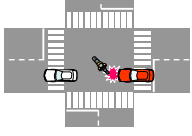

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案	
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種	
左折時事故	交差点 (1/3)	1)【信号・無信号交差点共通】左折車(自動車・二輪車)が直進する二輪車・自転車と交差点で衝突	共通		—	—	—	左折車と直進車の動線を空間的に分離する 左折車と直進車の動線を時間的に分離する	細街路の移設・集約 信号現示改良(左折専用現示)	
			共通		二輪車・自転車	路肩をすり抜けて走行する	渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい 路肩の幅員が広いこと、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する すり抜けを抑制する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消 路肩縮小	
			左折車		<p>左折先の交通状況を十分に確認しないまま左折しようとし交差点内で急停止・急減速を行う</p>	高架橋の橋脚により、左折先の道路を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
			立体横断施設の橋脚により、左折先の道路を確認しづらい			注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
			植栽により、左折先の道路を確認しづらい			植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設			
			標識・看板により、左折先の道路を確認しづらい			標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設			
			地上機器により、左折先の道路を確認しづらい			地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設			
			防護柵(ガードレール等)により、左折先の道路を確認しづらい			防護柵を改良する	ガードパイプへの改良			
			角地の建築物等により、左折先の道路を確認しづらい			注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
			交差点が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなり、左折先の道路の確認が不十分になりやすい			交差点を改良する	交差点改良(直交化)			
			隅切り半径が大きいため、左折時の速度が高くなり、左折先の道路の確認が不十分になりやすい			隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)			
			—			左折先道路の渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消			
			二輪車・自転車				<p>前方車の左折に気づいても回避が間に合わない速度で走行する</p>	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
			長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい					注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
			—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)					
			二輪車・自転車		<p>二輪車・自転車が気づいても回避が間に合わない速度で左折する</p>			交差点が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)
			隅切り半径が大きいため、左折時の速度が高くなりやすい					隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)	
			本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に左折する					左折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	左折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設)
			二輪車・自転車		<p>二輪車・自転車を十分に確認しないまま左折する</p>	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
			—			注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
			自転車			<p>自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま左折する</p>	自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等	
			二輪車・自転車				<p>前方車の左折に気づいても回避が間に合わない速度で走行する</p>	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
			—			長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい		注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
			—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)					

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
左折時事故	交差点 (2/3)	2)【信号・無信号交差点共通】左折車(自動車・二輪車)が横断する自転車と横断歩道で衝突	交差点を左折した左折車(自動車・二輪車)が、横断歩道を走行する自転車と横断歩道で衝突		左折車	自転車を確認しないまま左折する	高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
							植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
							標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
							地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設
							防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良
							角地の建築物等により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)
							横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)
							交差点が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)
					自転車	自転車に気づいても回避が間に合わない速度で左折する	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)
							交差点が鈍角の道路構造であるため、左折時の速度が高くなりやすい	交差点を改良する	交差点改良(直交化)
							隅切り半径が大きいため、左折時の速度が高くなりやすい	隅切り半径を改良する	交差点改良(隅切り半径の縮小)
						本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に左折する	左折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	左折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	左折車線(新設)
						自転車の走行位置、速度を見誤ったまま左折する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
						自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま左折する	—	自転車の走行位置を明確にする	路面表示(矢羽根等)
								注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)
							植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
	標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設						
	地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設						
	防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良						
	角地の建築物等により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)						
	左折車を予期しないまま横断歩道を走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
左折時事故	交差点 (3/3)	3)【信号・無信号交差点共通】左折車(自動車・二輪車)が横断する自転車と左折導流路で衝突	共通		—	—	—	導流路での交錯の機会を取り除く	導流路の廃止
			左折車	横断歩道または横断歩道付近の自転車を十分に確認しないまま左折導流路を走行する		植栽により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						標識・看板により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						地上機器により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設	
						防護柵(ガードレール等)により、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良	
						導流路内の横断歩道が暗いため、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)	
						左折導流路の曲線半径が大きいため、左折時の速度が高くなり、導流路の横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	導流路の曲線半径を改良する	交差点改良(導流路半径の縮小)	
			自転車	横断歩道に接近する車両を十分に確認しないまま横断歩道を走行する		左折導流路の曲線半径が大きいため、左折時の速度が高くなりやすい	導流路の曲線半径を改良する	交差点改良(導流路半径の縮小)	
			横断歩道に接近する車両を十分に確認しないまま横断歩道を走行する	植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい		植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
				標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい		標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設							
横断歩道に接近する車両を予期せずに走行する	—	—	防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良				
4)【信号・無信号交差点共通】左折車(自動車・二輪車)が停車中の自転車と溜まり部で衝突	交差点を左折した左折車(自動車・二輪車)が、停車中の自転車と溜まり部で衝突		—	—	—	溜まり部を確保する	歩道、自転車歩行者道(溜まり部の確保)		
			—	—	—	歩車道境界を分離する	車両用防護柵(巻き込み防止) ゴム製ポール		

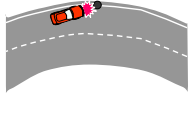
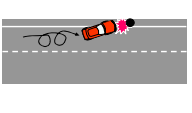
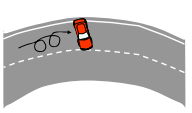
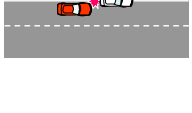
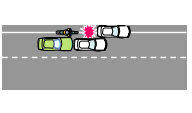
検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案	
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種	
右折時事故	単路 (1/2)	共通	共通		-	-	-	右折車と対向直進車の動線を空間的に分離する	中央帯(新設または開口部の閉鎖)	
								沿道施設出入口を集約または移設する	施設出入口の集約または本線外への移設 歩道切り下げ部の廃止	
								右折車と対向直進車の動線を時間的に分離する	信号機(新設)	
								右折を禁止する	ゴム製ポール	
		1)右折車(自動車・二輪車)が対向直進車と車道で衝突	対向車線を走行する車両の間をぬって沿道施設へ右折した右折車(自動車・二輪車)が、対向直進車と車道で衝突	右折車		対向直進車を十分に確認しないまま右折する	-	カーブにより、対向車線を確認しづらい	道路線形を改良する	線形改良
								クレストにより、対向車線を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良
								高架橋の橋脚により、対向車線を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
								植栽により、対向車線を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
								標識・看板により、対向車線を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設
								対向右折車により、対向車線を確認しづらい	右折時の対向直進車の視認性を向上させる	右折車線(新設または設置位置改良) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)
								対向車のヘッドライトにより、対向車線を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける	眩光防止板
				本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)			
				対向直進車の走行位置、速度を見誤ったまま右折する	-	対向直進車の走行位置、速度を認識しやすくする	視線誘導標(対向車線側への設置)			
				直進車		右折車に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	-	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
								長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
-	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)								
右折車を予期しないまま走行する	-	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)							

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
右折時事故	単路(2/2)	2)右折車(自動車・二輪車)が対向二輪車・自転車と路肩で衝突	対向車線を走行する車両の間をぬって沿道施設へ右折した右折車(自動車・二輪車)が、対向車線の路肩を走行する二輪車・自転車と路肩で衝突		右折車	カーブにより、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	道路線形を改良する 視距を改良する	線形改良 視距改良	
						クレストにより、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	道路線形を改良する	縦断線形改良	
						高架橋の橋脚により、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						植栽により、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設	
						標識・看板により、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設	
						対向右折車により、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	右折時の対向直進車の視認性を向上させる	右折車線(新設または設置位置改良) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)	
						自動車と二輪車が並走するため、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	すり抜けを抑制する	路肩縮小	
						対向車のヘッドライトにより、沿道施設付近の路肩を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける	眩光防止板	
					本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)	
					対向二輪車の走行位置、速度を見誤ったまま右折する	—	対向二輪車の走行位置、速度を認識しやすくする	視線誘導標(対向車線側への設置)	
					自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま右折する	自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					二輪車・自転車	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良	
						右折車に気づいても回避が間に合わない速度で路肩をすり抜けて走行する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
	路肩をすり抜けて走行する	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消					
	路肩の幅員が広いため、路肩のすり抜けが発生しやすい	すり抜けを抑制する	路肩縮小						
	右折車を予期しておらず十分注意しないまま路肩をすり抜けて走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)					
	3)右折車(自動車・二輪車)が自転車と自歩道で衝突	対向車線を走行する車両の間をぬって沿道施設へ右折した右折車(自動車・二輪車)が、自歩道を走行する自転車と自歩道で衝突		右折車	高架橋の橋脚により、自歩道を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					立体横断施設の橋脚により、自歩道を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する	立体横断施設(撤去・移設)		
					—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
					植栽により、自歩道を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設		
					標識・看板により、自歩道を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設		
					地上機器により、自歩道を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設		
					防護柵(ガードレール等)により、自歩道を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良		
					歩道部分が暗いため、自歩道を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)		
				路上に駐停車する車両により、自歩道を確認しづらい	駐停車を抑制する	駐停車対策の検討(停車帯、駐停車禁止規制等)			
本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する				右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設) 導流帯(車道中央部のゼブラ表示)			
自転車				右折車を予期しないまま走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案	
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種	
右折時事故	交差点(1/3)	1)【信号・無信号交差点共通】右折車(自動車・二輪車)が対向直進車と交差点で衝突 [次ページに続く]	対向車線を走行する車両の間をぬって交差点道路へ右折した右折車(自動車・二輪車)が、対向車線を走行する直進車と交差点で衝突	  	共通	-	-	-	右折車と対向直進車の動線を空間的に分離する 右折車と対向直進車の動線を時間的に分離する	立体交差化 細街路の移設・集約 信号灯器(右折矢印)
					右折車	対向直進車を十分に確認しないまま右折する	カーブにより、対向車線を確認しづらい クレストにより、対向車線を確認しづらい 高架橋の橋脚により、対向車線を確認しづらい 立体横断施設の橋脚により、対向車線を確認しづらい 植栽により、対向車線を確認しづらい 標識・看板により、対向車線を確認しづらい 対向右折車により、対向車線を確認しづらい 右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる 右折待機位置が悪いため、対向車線を確認しづらい 交差点が鈍角の道路構造であるため、右折待機位置が不明確となり適切な位置で待機できず、対向車線を確認しづらい 雨天時の水はけが悪いため、右折待機位置が不明確となり適切な位置で待機できず、対向車線を確認しづらい 夜間、右折待機位置が不明確となり適切な位置で待機できず、対向車線を確認しづらい 交差点が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなり、対向車線の確認が不十分になりやすい 右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなり、対向車線の確認が不十分になりやすい	道路線形を改良する 道路線形を改良する 注意を喚起する 立体横断施設を撤去または移設する 注意を喚起する 植栽を整理または撤去・移設する 標識・看板等を整理または撤去・移設する 右折時の対向直進車の視認性を向上させる 右折車同士の並走を解消する 右折車の交差点内での走行位置を明確にする 右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する 交差点を改良する 水はけを良くする 雨天時の右折待機位置を確認しやすくする 夜間の右折待機位置を確認しやすくする 交差点を改良する 右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	線形改良 縦断線形改良 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起) 立体横断施設(撤去・移設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起) 植栽の整理または撤去・移設 標識・看板等の整理または撤去・移設 右折車線(新設または設置位置改良) 車線数の削減(右折車線1車線化) 導流表示(右折) 導流表示(右折) 交差点中心表示 交差点改良(直交化) 舗装改良(排水性舗装) 区画線・道路標示(高視認性) 区画線・道路標示(高視認性) 道路照明(新設、改良、増設、移設等) 交差点改良(直交化) 導流表示(右折) 交差点中心表示	
					直進車	対向直進車の回避が間に合わない速度で右折する	交差点が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなりやすい 右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなりやすい	交差点を改良する 右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	交差点改良(直交化) 導流表示(右折) 交差点中心表示	
					直進車	本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設)	
					直進車	対向直進車の走行位置、速度を見誤ったまま右折する	-	対向直進車の走行位置、速度を認識しやすくする 注意を喚起する	視線誘導標(対向車線側への設置) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					直進車	自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま右折する	自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	自転車通行空間を整備する 注意を喚起する	自転車道、自転車専用通行帯等 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					直進車	右折車に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					直進車	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	-	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グレーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					直進車	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	-	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)	
					直進車	右折車を予期しないまま走行する	-	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
					直進車	(二輪車・自転車)が路肩をすり抜けて走行する	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい 路肩の幅員が広いため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する すり抜けを抑制する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消 路肩縮小	
					直進車	(二輪車・自転車)が右折車に十分注意しないまま、路肩をすり抜けて走行する	-	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
右折時事故	交差点(2/3)	1)【信号・無信号交差点共通】右折車(自動車・二輪車)が対向直進車と交差点で衝突	対向車線にはみ出して右折待ちをする右折車(自動車・二輪車)が、対向車線を走行する直進車と交差点で衝突		右折車	右折待ち時に対向車線側にはみ出して停止する	交差点がくいちがい交差であるため、右折待ち位置を確認しづらい	交差点の線形を改良する	交差点改良(くいちがい交差の改良)
							交差点の交差角が鋭角等であるため、右折待ち位置を確認しづらい	交差角を改良する	交差点改良(直交化)
							右折待ち位置や交差点中心位置が明示されていないため、右折待ち位置を確認しづらい	右折車の交差点内での待ち位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示 路面表示(カラー舗装)
							雨天時の水はけが悪いため、右折待ち位置を確認しづらい	水はけを良くする 待ち位置を認識しやすくする	舗装改良(排水性舗装) 区画線・道路標示(高視認性)
							夜間、右折待ち位置を確認しづらい	走行位置を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性) 道路照明(新設、改良、増設、移設等)
							本線上での待ちにより後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして、対向車線側にはみ出して停止する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する
					直進車	右折車に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)
							高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	立体横断施設を撤去または移設する 注意を喚起する	立体横断施設(撤去・移設) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
							植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設
		右折車	横断中または横断を開始しようとする歩行者を十分に確認しないまま右折し、横断歩道を通過する直前で急停止・急減速を行う	標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設			
				地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設			
				防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良			
				横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)			
				交差角が鈍角の道路構造であるため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	交差角を改良する	交差点改良(直交化)			
				右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示			
				右折時に対向車線、横断歩道および横断歩道付近を同時に確認しづらい	右折車と対向直進車・横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号灯器(右折矢印)			
				—	車両と横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号現示改良(歩車分離式信号)			
				右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	右折車同士の並走を解消する 右折車の交差点内での走行位置を明確にする	車線数の削減(右折車線1車線化) 導流表示(右折)			
				—	横断歩道手前に、やむを得ない場合に衝突を回避できるスペースを設ける	横断歩道(セットバック)			
				直進車	右折車に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する 注意を喚起する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
						長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)	
—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)							
—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)							

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案			
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例(現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種			
右折時事故	交差点(3/3)	2)【信号交差点】右折車(自動車・二輪車)が対向直進車と交差点で衝突		赤信号への切り換え時に右折を開始した右折車(自動車・二輪車)が、対向車線を走行する直進車と交差点で衝突	右折車	赤信号への切り換え時に、交差点を無理に右折する	右折可能時間が短い	右折可能時間を確保する	信号灯器(右折矢印) 信号現示改良(時差式等)			
						直進車	赤信号への切り換え時に、進入するか停止するかを判断を誤って交差点に進入する	交差点規模が大きく、交差点通過に時間がかかる	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
							赤信号への切り換え時に、交差点に無理に進入する	交通量が多い流入部の青時間が短い	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)		
								注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
							3)【信号・無信号交差点共通】右折車(自動車・二輪車)が横断する自転車と横断歩道または横断歩道付近で衝突	対向車線を走行する車両の間をぬって交差点道路へ右折した右折車(自動車・二輪車)が、直進する自転車と横断歩道または横断歩道付近で衝突		自転車	高架橋の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	注意を喚起する
						立体横断施設の橋脚により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい					注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)
	植栽により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設									
	標識・看板により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設									
	地上機器により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設									
	防護柵(ガードレール等)により、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良									
	横断歩道が暗いため、横断歩道または横断歩道付近を確認しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)									
	自転車を確認しないまま右折する	右折時に対向車線、横断歩道または横断歩道付近を同時に確認しづらい	右折車と対向直進車・横断歩行者の動線を時間的に分離する	信号灯器(右折矢印)								
	右折レーンが2車線あり、並走右折車両に気を取られる	右折車同士の並走を解消する	車線数の削減(右折車線1車線化)									
	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)									
	交差点角が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	交差点角を改良する	交差点改良(直交化)									
	右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなり、横断歩道または横断歩道付近の確認が不十分になりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示									
	横断歩道がセットバックしているため、横断歩道手前での速度が高くなりやすい	横断歩道設置位置を改善する	横断歩道(前出し)									
	交差点角が鈍角の道路構造であるため、右折時の速度が高くなりやすい	交差点角を改良する	交差点改良(直交化)									
	右折走行位置が不明確のため、ショートカット等により右折時の速度が高くなりやすい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示									
	本線上での待機により後続車の進行を妨げている状況を早めに回避しようとして無理に右折する	右折待ちにより、後続直進車の通行を妨げる	右折車と後続直進車の動線を空間的に分離する	右折車線(新設)								
自転車の存在を予期しておらず、安全確認をしないまま右折する	自転車通行空間が不足している、または、明示されていない	自転車通行空間を整備する	自転車道、自転車専用通行帯等									
自転車	右折車を十分に確認しないまま横断歩道を走行する	高架橋の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)								
		立体横断施設の橋脚により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)								
		植栽により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	植栽を整理または撤去・移設する	植栽の整理または撤去・移設								
		標識・看板により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	標識・看板等を整理または撤去・移設する	標識・看板等の整理または撤去・移設								
		地上機器により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	地上機器等を整理または撤去・移設する	地上機器等の整理または撤去・移設								
		防護柵(ガードレール等)により、横断歩道に接近する車両を確認しづらい	防護柵を改良する	ガードパイプへの改良								
		右折車を予期しないまま横断歩道を走行する	—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)							

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案				
事故類型	単区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミス誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種				
車両単独事故	単路	1)直進車(自動車・二輪車・自転車)が工作物と路外等で衝突、または直進車が転倒	路外へ逸脱した直進車(自動車・二輪車・自転車)が、道路沿線に設置してある工作物と衝突	  	直進車	前方の線形を十分に確認しないままカーブ区間に進入し、車線を逸脱する	カーブにより、前方の線形を確認しづらい	衝突対象となる物を撤去・集約する	工作物の撤去・集約 無電柱化				
								衝突時の衝撃を緩和するための施設を設置する	車両用防護柵(路側用、分離帯用) 緩衝施設				
								車線の幅員が狭いため、適切な幅員に拡幅する	道路拡幅				
								はみ出しを認識させて車線逸脱を抑制する	ランブルストリップス 道路鈹 区画線・道路標示 (リブ付き)				
								道路線形を改良する	線形改良				
								視距を改良する	視距改良				
								前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化) 区画線・道路標示 (高視認性) 道路鈹 ゴム製ポール 路面表示(カラー舗装)				
								注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
								道路線形を改良する	縦断線形改良				
								前方の線形を認識しやすくする	視線誘導標(新設または大型化) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
								注意を喚起する	法定外看板(注意喚起)				
								対向車のヘッドライトにより、対向車線を確認しづらい	ヘッドライトを遮る施設を設ける	眩光防止板			
								下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
								カーブ手前が直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
								急カーブであるため横滑りが発生しやすい	道路線形を改良する 片勾配を改良する 舗装を滑りにくくする	線形改良 片勾配の改良 舗装改良(滑り止め舗装)			
		路面が凍結しやすく、すべりやすい	路面の凍結を防止する	雪寒対策(薬剤散布) 雪寒対策(融雪施設) 舗装改良(グルーピング)									
		雨天時の水はけが悪く、すべりやすい グレーチングがあり、すべりやすい	水はけを良くする スリップを防止する	舗装改良(排水性舗装) 蓋の改良									
		走行位置を十分に確認しないまま車線を逸脱する	雨天時の水はけが悪く、走行位置を認識しづらい 夜間、走行位置を認識しづらい	水はけを良くする 雨天時の走行位置を認識しやすくする 区画線・道路標示 (高視認性) 区画線・道路標示 (高視認性)									
		漫然運転や眠気により車線を逸脱したことに気づかないまま走行する、または、気づくのが遅れる	—	ランブルストリップス 道路鈹 区画線・道路標示 (リブ付き) 舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等)									
		2)直進車(自動車・二輪車・自転車)が駐車車両(運転者不在)と車道または路肩で衝突	共通	 	直進車	駐車車両に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	駐車スペースを本線と分離する	停車帯の整備				
								下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良				
								注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
								長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
								—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)			
								路上駐車車両を見落としたまま走行する	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			
								本線の滞留車両を避けて路肩を走行する二輪車・自転車が、駐車車両と路肩で衝突	二輪車・自転車	路肩をすり抜けて走行する	本線が渋滞しているため、路肩のすり抜けが発生しやすい	渋滞を緩和・解消する	道路拡幅(車線数増等) ボトルネック交差点の解消
								路肩の幅員が広いため、路肩のすり抜けが発生しやすい	すり抜けを抑制する	路肩縮小			
								—	注意を喚起する	路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)			

検討プロセス		②着目すべき事故形態の設定	③事故発生過程の推定		④事故要因の分析			⑤対策方針の検討	⑥対策工種の立案
事故類型	単交区分	事故形態	事故発生過程の例	イメージ図	当事者	事故発生過程において想定される当事者のミス	当事者のミスを誘発する道路交通環境の例 (現地調査時のチェックポイントの例)	対策方針の例	代表的な対策工種
車両単独事故	交差点	1)【信号・無信号交差点共通】右折車(自動車・二輪車)が工作物と交差点で衝突	共通		—	—	—	衝突時の衝撃を緩和するための施設を設置する	緩衝施設
			右折車	中央分離帯を十分に確認しないまま右折する	中央分離帯を認識しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)		
				中央分離帯に気づいても回避が間に合わない速度で右折する	交差角が鈍角の道路構造であるため、右折速度が上昇しやすい	中央分離帯を認識しやすくする	中央帯先端表示(障害物表示灯等)		
				—	—	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)		
				交差角が鈍角の道路構造であるため、走行位置を認識しづらい	交差角を改良する	交差角を改良する	交差点改良(直交化)		
				交差点内での走行位置を十分に確認しないまま右折する	交差点規模が大きく、走行位置を認識しづらい	右折車の交差点内での走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示(右折) 交差点中心表示		
				雨天時の水はけが悪く、走行位置を認識しづらい	雨天時の水はけを良くする	舗装改良(排水性舗装)	舗装改良(排水性舗装)		
			夜間、走行位置を認識しづらい	雨天時の走行位置を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性)	区画線・道路標示(高視認性)			
			夜間、走行位置を認識しづらい	走行位置を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性)	区画線・道路標示(高視認性)			
			直進車	中央分離帯を十分に確認しないまま走行する	中央分離帯を認識しづらい	道路を明るくする	道路照明(新設、改良、増設、移設等)		
				—	—	中央分離帯を認識しやすくする	中央帯先端表示(障害物表示灯等)		
				中央分離帯に気づいても回避が間に合わない速度で走行する	下り勾配であるため、走行速度が高くなりやすい	注意を喚起する	法定外看板(交差点形状の明示)		
	長い直線区間であるため、走行速度が高くなりやすい	—		下り勾配を緩和または解消する	縦断線形改良				
	—	—		注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
	交差点内での走行位置を十分に確認しないまま走行する	交差点が緩やかなカーブやくいちがい交差であるため、走行位置を認識しづらい		注意を喚起する	舗装改良(段差舗装、グルーピング(横断方向)等) 路面表示(カラー舗装、文字による注意喚起等) 法定外看板(注意喚起)				
	直進車	交差点内での走行位置を十分に確認しないまま走行する	交差点の線形を改良する	舗装を滑りにくくして、制動停止距離の短縮を図る	舗装改良(滑り止め舗装)				
		—	—	交差点内での車両の走行位置を適切な位置に誘導する	導流表示 交差点中心表示				
		雨天時の水はけが悪く、走行位置を認識しづらい	水はけを良くする	舗装改良(排水性舗装)	舗装改良(排水性舗装)				
夜間、走行位置を認識しづらい		雨天時の走行位置を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性)	区画線・道路標示(高視認性)					
—		—	走行位置を認識しやすくする	区画線・道路標示(高視認性)					
—		—	—	—					

国土技術政策総合研究所資料
TECHNICAL NOTE of NILIM
No.787 April 2014

編集・発行 ©国土技術政策総合研究所
本資料の転載・複写の問い合わせは
〒305-0804 茨城県つくば市旭1番地
企画部 研究評価・推進課 TEL 029-864-2675